

R6年度 事務事業評価シート

203 課・局・室・所(係) 教育総務課 総務係 事務事業番号 226020401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	学校教育振興事業	1	理科教育設備整備事業				政策的
	小・中学校における理科教育の充実を図るため、国の補助制度を活用し、理科の授業で使用する実験器具等を整備する。				対象	全小・中学校		
					手段	学校の要望に基づき、整備		
				意図	理科教育の実践のための環境整備			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
	校用器具費	3,987千円			校用器具費	3,918千円				
	(小)2,607千円				(小)2,504千円					
	(中)1,380千円				(中)1,414千円					
	合計	3,987千円				3,918千円				
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	1,977千円			1/2	1,948千円			
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		2,010千円				1,970千円			
合計		3,987千円				3,918千円				
人工数	人件費	0.40人	2,293千円	0.05人	291千円	0.20人	1,182千円			
総経費		6,280千円			291千円		5,100千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	整備した実験器具等の数	活動	-	-	-	-
			135点	-	140点	
2	市内小・中学校の平均整備率(国の基準金額と比較)	活動	40.0%		42.0%	
			40.5%		40.1%	
			101.30%		95.50%	
3						

成果	全小中学校において理科教育設備の整備を実施し、理科教育の充実や学力向上に向けた取組の推進につながった。				
R8年度に向けた課題及び改善策	本事業は補助率が1/2であり、整備率の大幅な向上は難しいが、現状、学習指導要領に沿った理科教育設備の整備は担保されている。今後、国が示す重点設備を中心に整備し、さらなる理科教育の充実を図る。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

204 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020505

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
5	学校施設整備事業	5	学校和式トイレ洋式化事業				政策的	
事業概要	家庭では洋式トイレが一般化しており、和式トイレの使用に不慣れな小・中学生や和式トイレの使用が困難な避難住民等の負担軽減を図るため、トイレの洋式化を進めます。				対象	和式トイレ		
					手段	洋式トイレに改修する。		
					意図	児童生徒や避難住民が清潔で使いやすいトイレにする。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	工事請負費	2,790千円		工事請負費	3,944千円		工事請負費	4,361千円	工事請負費	8,880千円
	・高千帆中3器			・小野田中2器			・高千帆小2器		・24器	
	・小野田中4器			・厚狭小2器			・須恵小2器			
	・竜王中3器			・小野田小2器			・赤崎小2器			
	・埴生中4器			・高千帆小1器			・本山小2器			
				・有帆小2器			・厚狭小1器			
			・ほか3校5器			・ほか3校5器				
合計		2,790千円			3,944千円			4,361千円		8,880千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債			90%	3,500千円	90%	3,800千円	90%	7,800千円	
	その他									
	一般財源		2,790千円		444千円		561千円		1,080千円	
合計		2,790千円		3,944千円		4,361千円		8,880千円		
人工数	人件費	0.05人	287千円	0.25人	1,456千円	0.10人	591千円			
総経費		3,077千円		5,400千円		4,952千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	洋式化改修便器数	活動	12器	12器	12器	24器
			14器	14器	14器	
			116.67%	116.67%	116.67%	
2	洋式化率	活動	50%	50%	50%	50%
			33%	35%	37%	
			66.00%	70.00%	74.00%	
3						

成果	各小中学校の屋内運動場のトイレについては、令和5年度までに全て洋式化しており、令和6年度は、これまで本格的に整備を進められていなかった校舎トイレの洋式化に取り組んだ。令和6年度末時点で洋式化率は36.8%となったものの、全国平均(令和5年9月1日現在 小中学校68.3%)及び県平均(令和5年9月1日現在 小中学校47.2%)と比較すると低い水準である。					
R8年度に向けた課題及び改善策	学校施設のトイレ洋式化については、令和12年度までの概ね5か年で100%の充足を目指すよう、令和7年5月に方針決定したところである。しかしながら、依然として洋式便器の数が極めて少ない学校が複数あることから、本事務事業により、令和7年度において、年間整備器数を従来の12器から24器にするよう予算化に努め、また、令和8年度も同程度の器数の洋式化を図る。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	令和6年度末の洋式化率36.8%は、期中において実施した赤崎小学校のバリアフリートイレの設置分(洋式便器:1器)を含めた割合である。					

R6年度 事務事業評価シート

205 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020514

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
5	学校施設整備事業	14	屋内運動場照明器具LED化改修事業				政策的
事業概要	小・中学校の屋内運動場の照明器具において、現在は電球が切れた際、職員が市民館の昇降機を使用し、1球1球交換しており、中学校の屋内運動場については昇降機が届かない学校が多く、手間がかかり非常に危険である。なお、水銀灯は2020年に製造中止となるため水銀灯の使用はできなくなる。(令和3年中には水銀灯の入手が困難になり在庫での対応となっており、令和5年には学校の在庫もなくなる。)照明器具をLED化にすることにより、照明器具の長寿命化、機能の質的向上に繋がる。				対象	小・中学校屋内運動場照明器具	
					手段	照明器具のLED化	
					意図	施設の機能の回復と質的向上	

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳			備品購入費		校用器具費		校用器具費	
			・須恵小学校	2,090千円	・有帆小学校	1,529千円	・小野田小学校	2,478千円
			・赤崎小学校	1,882千円	・高千帆小学校	1,614千円	・本山小学校	3,098千円
			・厚狭小学校	2,638千円	・高泊小学校	2,068千円	校用器具費	
			備品購入費		校用器具費		・殖生中学校	3,305千円
			・小野田中学校	3,553千円	・高千帆中学校	3,586千円		
		・厚狭中学校	2,769千円	・竜王中学校	4,084千円			
合計				12,932千円		12,881千円		8,881千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		100%	12,900千円	100%	12,600千円	100%	8,700千円
	その他							
	一般財源			32千円		281千円		181千円
合計				12,932千円		12,881千円		8,881千円
人工数 人件費			0.20人	1,165千円	0.20人	1,182千円		
総経費				14,097千円		14,063千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	照明器具をLED化する学校	活動		3校	5校	3校
				5校	5校	
				166.67%	100.00%	
2						
3						

成果	LED照明器具に更新することにより省電力化が図られただけでなく、職員による電球交換作業手間の削減及び水銀灯在庫不足に対する不安が軽減された。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和7年度は、小学校2校及び中学校1校の屋内運動場を対象として事業化に向けた準備を進めており、令和8年度以降は、高千帆小学校多目的ホールや厚陽中学校武道場等の水銀灯のLED化に取り組む。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	令和9年12月をもって蛍光灯の製造等が禁止されるため、蛍光灯の設置がある厚陽小中学校や出合小学校の屋内運動場を含む学校施設のLED化が引き続き課題となる。					

R6年度 事務事業評価シート

206 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020517

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	学校施設整備事業	17	学校施設改修事業(臨時)				政策的
	学校施設の多くは老朽化が進み、不具合が発生している。不具合の発生した箇所が改修が必要な場合、緊急度に応じて計画的に工事を行う。また、学校等の要望により施設の解体や新設等を行う必要がある場合も計画的に工事を行う。また、令和6年度に松原分校に赤崎校区から障がいのある児童が入学予定である。松原分校については、「閉校に関する合意書」に基づき令和9年度までに閉校する予定であり児童を受け入れるため赤崎小学校内に多目的トイレの新設工事を行う。				対象	改修が必要な箇所等		
					手段	改修工事を行う		
					意図	児童生徒の安全確保、利便性向上と施設の延命化		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
	工事請負費		工事請負費		工事請負費		修繕料	
	・厚狭小 給水管(第2校舎)	2,178千円	・本山小 屋根改修(管理特別棟)	1,298千円	高泊小 浄化槽プロワーポンプ取替	765千円	・小野田小 消火栓ポンプ取替	3,419千円
			・厚狭小中 職員室等エアコン室外機補修	1,299千円	高泊小 浄化槽荒目スクリーン取替	1,296千円		
					茶崎小 バリアフリートイレ設置(給排水)	343千円		
						備品購入費		
						・赤崎小 バリアフリートイレ購入	2,640千円	
						・高千帆中 体育館排煙吸排熱器改修工事	901千円	
合計	2,178千円		2,597千円		5,945千円		3,419千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				90%	2,600千円	75%	2,500千円
	その他			損害保険金	649千円			
	一般財源	2,178千円		1,948千円		3,345千円		919千円
合計	2,178千円		2,597千円		5,945千円		3,419千円	
人工数 人件費	0.05人	287千円	0.02人	117千円	0.10人	591千円		
総経費	2,465千円		2,714千円		6,536千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	不具合の発生した箇所の改修等	活動	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所
			1箇所	2箇所	2箇所	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2	バリアフリートイレ設置	活動			1校	
					1校	
					100.00%	
3						

成果	高泊小学校の浄化槽について、プロワーポンプ及び荒目スクリーンの取替工事を計画どおり実施し、また、期中において、バリアフリートイレの設置の必要性が明らかになったため、市議会9月定例会に補正予算案を提出し、議決後、速やかに調達等の手続を行い、年度末までに設置を完了した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	市内の学校施設は老朽化しており、修繕箇所が増加していることから、今後も継続して計画的に改修を行っていく必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

207

課・局・室・所(係)

教育総務課

学校施設係

事務事業番号

226020519

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
5	学校施設整備事業	19	屋内運動場長寿命化改修事業				政策的
事業概要	昭和40年代から50年代にかけて集中的に整備された本市の学校施設は、今後10年から20年間に一斉に更新時期を迎え、改修や維持管理等に多額の経費を要することが想定されます。また社会情勢の変化に伴い、教育内容・方法の多様化、防災機能の向上など学校施設に対するニーズが大きく変化しており、これらに対応した学校施設の整備が求められています。このことにより中長期的な維持管理に係るコストの縮減及び平準化を図るとともに学校施設に求められる機能・性能を確保するために「山陽小野田市学校施設整備計画」に基づき屋内運動場の長寿命化改修を行います。				対象	屋内運動場	
					手段	屋根、外壁、内部改修工事等の長寿命化改修	
					意図	児童生徒の安全確保、建物の延命化	

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	設計委託料(実施設計)		設計委託料(実施設計)		工事請負費		53,999千円	
	・高千帆小 屋内運動場外壁改修 2,420千円		・本山小 屋内運動場外壁等改修 3,597千円		・本山小 屋内運動場外壁等改修			
			工事請負費					
			・高千帆小 屋内運動場外壁改修 35,933千円					
	合計		2,420千円		39,530千円		53,999千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金				11,850千円		6,830千円	
	県支出金							
	地方債	75%	1,800千円	90%、75%	23,800千円	75%、15%	37,300千円	
	その他							
	一般財源		620千円		3,880千円		9,869千円	
合計	2,420千円		39,530千円		53,999千円			
人工数 人件費	0.02人	115千円	0.61人	3,554千円	0.36人	2,128千円		
総経費	2,535千円		43,084千円		56,127千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	耐力度調査する棟数	活動				
2	実施設計する棟数	活動	1棟	1棟		
			100.00%	100.00%		
3	工事する棟数			1棟	1棟	
				100.00%	100.00%	

成果	令和2年度に策定した「学校施設整備計画」に基づき、令和6年度は、本山小学校屋内運動場の外壁等改修工事を実施した。事前に学校と綿密に打合せを行い、学校運営に支障が生じないよう配慮し、事業に取り組むことができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	児童生徒の安全確保のため、緊急性及び優先性を踏まえた改修等事業を計画的に実施できるよう、市長部局と改めて協議を行い、共通認識のもと、学校施設の老朽化に対応する必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

208 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020520

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
5	学校施設整備事業	20	学校施設跡地維持管理事業				政策的	
事業概要	平成24年度に旧厚陽中は厚陽小・中学校に令和2年度に旧埴生小学校は埴生小・中学校となり現在の場所に移転した。令和4年度からは旧津布田小学校が埴生小・中学校に統合される。法面を含む学校敷地の管理は地元からの要望も強く、適切に管理を行う必要がある。				対象	学校施設跡地(旧厚陽中、旧埴生小、旧津布田小)		
					手段	法面を含む学校敷地内の草刈り、水路の清掃		
					意図	旧学校跡地の適正な管理を行う		

事業期間	R4 年度	～	R11以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			草刈り等委託料 (旧埴生小、津布田小)	476千円	草刈等委託料 (旧埴生小)	380千円	消耗品費	48千円
							草刈等委託料	340千円
	合計			476千円		380千円		388千円
	財源内訳/割合							
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源				476千円		380千円		388千円
合計				476千円		380千円		388千円
人工数 人件費	0.08人	459千円	0.28人	1,609千円	0.31人	1,810千円		
総経費		459千円		2,085千円		2,190千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	各学校草刈り回数	活動	2回	2回	2回	2回
			2回	2回	2回	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	各学校跡地について適正な管理を行うため、年2～3回草刈りを行った。また、一部の箇所について、業者に委託することで、職員の負担軽減を図ることができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	学校施設の跡地については、活用方針が決定するまでの間、教育委員会で適正に管理していく必要があるが、安全や衛生の保持に関する設備の保守に加えて、広大な敷地に雑草のほか竹や雑木などが繁茂していることから、現状の体制では継続した維持管理が困難である。今後、外部委託のための予算の増額が望まれる。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

209 課・局・室・所(係) 学校給食センター 管理係 事務事業番号 226020906

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	9	学校給食事業	6	学校給食実施事業(物価高騰分)	2-(1)			行政内部管理
	原油価格や物価高騰の影響を受けている学校給食の食材費について、保護者の負担増を抑制するため児童生徒にかかる給食費は据置きとし、食材費の一部を支援する。 (補正) 令和6年産米が全国的にも大幅に価格上昇しており、山口県においても同様の状況により新米価格が変更されます。そのため、当初試算していた賄材料費が不足する可能性があるため増額補正を行う。				対象	児童生徒の保護者		
					手段	物価高騰分の補てん		
				意図	保護者の負担軽減			

事業期間	R6 年度	～	R7 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	12月補正		需用費		需用費(当初賄材料費)	43,875千円	賄材料費	62,967千円
	賄材料費	2,750千円	(賄材料費)	25,395千円	(12月補正)賄材料費	2,086千円		
	合計	2,750千円		25,395千円		45,961千円		62,967千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	地方創生臨時交付金	2,750千円		重点支援地方交付金	30,000千円	重点支援地方交付金	31,174千円
	県支出金							
	地方債							
	その他				雑入	3,894千円	雑入	5,450千円
	一般財源			25,395千円		12,067千円		26,343千円
合計	2,750千円		25,395千円		45,961千円		62,967千円	
人工数 人件費	0.32人	1,835千円	0.32人	1,864千円	0.34人	2,739千円		
総経費		4,585千円		27,259千円		48,700千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	学校給食提供数 小学校・中学校	活動	241,783食	907,000食	895,200食	861,200食
			218,053食	906,711食	891,713食	
			90.00%	99.00%	99.00%	
2						
3						

成果	物価高騰の影響を受ける保護者の経済的な負担を増やすことなく、栄養バランスの取れた学校給食を提供することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	物価高騰により、現在の給食費では適正な給食が提供できないため給食費の改定を行う。今後、国の動向を注視しながら給食費無償化等の対応を行う。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R7	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

210

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226020907

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
9	学校給食事業	7	学校給食実施事業(物価高騰分)(埴生幼稚園)	2-(1)			行政内部管理	
事業概要	社会情勢や円安の影響により食品食材の物価が高騰している。そのため学校給食(幼稚園)の提供にも支障が出る可能性が高いため、学校給食食材の物価高騰相当額について新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、増額補正を行うことにより安定的な学校給食の提供を図る。				対象	埴生幼稚園 園児の保護者及び職員		
					手段	物価高騰分の補填		
					意図	保護者及び職員の負担軽減		

事業期間	R4 年度	~	R5 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	賄材料費	8千円	賄材料費	84千円	賄材料費	1千円	賄材料費	236千円
	合計	8千円		84千円		1千円		236千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						雑入	74千円
	一般財源	8千円		84千円		1千円		162千円
合計	8千円		84千円		1千円		236千円	
人工数 人件費	0.05人	287千円	0.02人	117千円	0.05人	296千円		
総経費		295千円		201千円		297千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	学校給食提供数(埴生幼稚園) R6は職員を含む	活動	735食	5,000食	6,336食	
			735食	2,901食	3,847食	
			100%	58.02%	60.71%	
2						
3						

成果	物価高騰に伴う食材の価格高騰に対応するため、賄材料費について増額補正を行った。				
R8年度に向けた課題及び改善策	物価高騰により、現在の給食費では適正な給食が提供できないため給食費の改定を行う。				
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

211 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021209

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	12	学校ICT環境整備事業	9	GIGAスクール推進事業	2-(2)	デジタル化		政策的
	児童生徒に1人1台ずつ整備したタブレット端末を活用して、効果的な授業ができるようICT支援員を配置し、学校からの質問や機器の故障に対応可能な環境を整備する。また、学校及びWi-Fi環境のない家庭のインターネットにかかる通信料を負担します。 1人1台端末環境による学びが本格化し、学校における端末活用は日常化の段階に移行しており、今後は子供の学びのDXを実現していくための支援基盤を構築することが重要と考えます。そのため、県を中心に県内市町と緊密に連携しながら、GIGAスクール運営支援センターの機能強化を図る。				対象	小・中学校		
				手段	ICT支援員の配置、運営支援体制の整備等			
				意図	学校が端末を活用した授業ができる環境を整える。			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	通信運搬費	23,902千円		通信運搬費	20,443千円	通信運搬費	18,810千円	機械器具費	148,005千円	
	手数料	113千円		手数料	42千円	人材派遣委託料	12,164千円	通信運搬費	16,326千円	
	人材派遣委託料	15,067千円		人材派遣委託料	13,437千円	機械器具費	6,171千円	人材派遣委託料	10,528千円	
	システム保守委託料	438千円		システム保守委託料	657千円	調査委託料	2,996千円	修繕料	4,000千円	
	機械器具費	2,751千円		機械器具費	5,547千円	修繕料	102千円	システム保守委託料	657千円	
	ソフトウェアライセンス料	23,701千円				システム保守委託料	657千円			
	工事委託料	1,485千円								
	合計	67,457千円		40,126千円		40,900千円		179,516千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2,1/3,10/10		1/2	2,783千円	1/3	1,880千円			
	県支出金							2/3	98,670千円	
	地方債									
	その他								ふるさと支援基金	30,000千円
	一般財源		10,161千円		37,343千円		39,020千円		50,846千円	
合計	67,457千円		40,126千円		40,900千円		179,516千円			
人工数 人件費	0.70人	4,013千円	0.73人	4,253千円	0.88人	5,202千円				
総経費	71,470千円		44,379千円		46,102千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	ICT支援員配置人数	活動	2名	2名	2名	2名
			2名	2名	2名	
			100%	100%	100.00%	
2	週3回以上クラウドを利用した家庭学習を行う児童生徒の割合 (アンケートは3学期に実施)	成果	50%	70%	80%	80%
			36.4%	46.70%	52.70%	
			72.8%	66.71%	65.88%	
3						

成果	Wi-Fi環境のない家庭にモバイルルーターを貸し付けることで、オンラインでつながり、学びを保障することができた。また、フィルタリングソフトを強化することで、有害サイトや有害情報へのアクセスを防ぐこと等が可能となり、有害サイトや有害情報へのアクセスやチャットを使った子ども同士のトラブルを未然に防止する教育環境を整備した。ICT支援員を活用して、学校のポータルサイトやHPが充実するとともに教員のICT活用能力の向上が図られた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和8年度に中学校の1人1台端末を更新する。 R2年度に端末と同時に導入した有償ライセンス(AIドリル、学習支援ソフト、無線アクセスポイントを管理するソフト等)が令和7年度末をもってライセンス期間が満了するため、12月補正で債務負担を設定し令和8年度に更新する。また、令和4年度に臨時交付金を活用し、導入したフィルタリングソフトのライセンス期間が令和8年7月末をもって満了するため、令和8年度に更新する。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	【9月補正】令和6年度に補助金を活用し、実施したネットワークアセスメントの結果、ネットワークの帯域不足、一部機器の性能不足が判明したため、ネットワーク機器、通信回線の更改をする。(公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金:補助率 1/3 補助上限2,400千円/校)					

R6年度 事務事業評価シート

212

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226021214

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	12	学校ICT環境整備事業	14	教育系サーバー更新事業				政策的
	教育系システムサーバー群(ADサーバー、グループウェアサーバー、ファイルサーバー、ウイルス対策用サーバー、クライアント運用管理サーバー等)のOSサポート期限が令和5年1月に到来するためシステム更新を行う。 更新のタイミングに併せ、サーバーを仮想化し、統合することにより、コストダウンを図る。また、サーバーを冗長化することにより、システムの安定稼働を図る。 【R4年6月補正】令和4年3月の文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の改訂に従い、インターネット分離を行います。教育系サーバー更新事業と同時に実施することでコストダウンを図ります。 【R4年9月補正】世界的な半導体不足により年度内の事業実施が困難であるため、全額減額し、債務負担行為を設定し、延長されたOSサポート期限までに事業を実施しシステムの安定稼働を図ります。				対象	小・中学校、給食センター、図書館		
					手段	デジタル推進課に新しいサーバを設置する。		
				意図	サーバを更新して、教育系システム、ネットワークの安定稼働を図る。			

事業期間	R4 年度	～	R10 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	システム保守委託料	-364千円	システム保守委託料	660千円	機械器具借上料	24,619千円	機械器具借上料	24,621千円
	電算委託料	-5,049千円	電算委託料	4,971千円				
	ネットワーク改修委託料	-2,718千円	ネットワーク改修委託料	2,710千円				
	機械器具借上料	-4,565千円	機械器具借上料	11,650千円				
	合計	-12,696千円		19,991千円		24,619千円		24,621千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	-12,696千円		19,991千円		24,619千円		24,621千円
合計	-12,696千円		19,991千円		24,619千円		24,621千円	
人工数 人件費	0.00人		0.20人	1,165千円	0.10人	591千円		
総経費	-12,696千円		21,156千円		25,210千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	サーバー更新	活動	契約	更新・運用	運用 運用 100.00%	運用
2						
3						

成果	教育系システムサーバー群の更新を予定通り実施した。併せて国のガイドラインに基づき学校用パソコンのインターネット分離を行った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和5年度にサーバーの更新を行い、令和6年度以降はリース料の支払いを行う。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	債務負担行為を設定:期間R4～R10					

R6年度 事務事業評価シート

213 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021215

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
12	学校ICT環境整備事業	15	統合型校務支援ツール導入事業				政策的	
事業概要	統合型校務支援システムの導入により、情報の一元管理・再利用による校務の効率化に加えて、校務だけでなく校務以外のさまざまな情報をつなぎ、一人一人の子どもに紐づく情報を多面的に可視化することで、教職員の気づきを最大化する。 エビデンスに基づく個に応じた指導や、組織的な学級運営・学校経営を支援する。				対象	小・中学校に配置済みのパソコン		
					手段	統合型校務支援システムの導入		
					意図	校内事務の効率化により、教育の質の向上、業務負担の軽減		

事業期間	R5 年度	～	R11以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳				ネットワーク改修委託料	システム保守委託料	5,631千円	システム保守委託料	5,632千円
				通信運搬費				
	合計					5,631千円		5,632千円
	財源内訳/割合							
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源						5,631千円		5,632千円
合計						5,631千円		5,632千円
人工数 人件費	0.00人		0.33人	1,922千円	0.24人	1,419千円		
総経費				1,922千円		7,050千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	統合型校務支援システムの導入校	活動		18校	18校	18校
				18校	18校	
				100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	令和6年度から、校務支援システムが本格稼働し、情報の一元管理・再利用による校務の効率化を図ることができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	本格稼働後の機器や環境に関するトラブルについては、引き続き学校教育課及びICT支援員等でサポートしていく必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

214

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務・指導係

事務事業番号

226021301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進		2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	13	特別支援教育支援事業	1	特別支援教育支援員配置事業					政策的
	特別な支援が必要な小・中学生が在籍し、担任だけでは対応しきれない状況にある学級で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援教育支援員を配置する。					対象	特別な支援が必要な児童生徒が在籍している学級		
						手段	特別支援教育支援員の配置		
					意図	適切な学級運営の確保			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
	保険料	134千円	保険料	124千円	特別支援教育支援員業務委託料	7,959千円	特別支援教育支援員業務委託料	10,930千円		
	特別支援教育支援員業務委託料	8,078千円	特別支援教育支援員業務委託料	7,453千円	保険料	130千円	保険料	145千円		
	合計	8,212千円	合計	7,577千円	合計	8,089千円	合計	11,075千円		
	国庫支出金									
県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	8,212千円		7,577千円		8,089千円		11,075千円			
合計	8,212千円		7,577千円		8,089千円		11,075千円			
人工数	0.15人	860千円	0.26人	1,515千円	0.26人	1,537千円				
総経費	9,072千円		9,092千円		9,626千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	特別支援教育支援員の配置人数	活動	20人	20人	20人	20人
			26人	22人	22人	
			130.00%	110.00%	110.00%	
2						
3						

成果	特別支援員の配置により、特別な支援を必要とする児童生徒に対して合理的配慮を行うことができ、当該児童生徒ばかりでなく学校全体の教育活動の充実につながった。				
R8年度に向けた課題及び改善策	特別な支援を必要とする児童生徒が増えており、障害者差別解消法により義務付けられた合理的配慮を実施するために、特別支援教育支援員のニーズは高まり、拡充の検討が必要である。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

215 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
13	特別支援教育支援事業	2	特別支援補助教員配置事業				政策的	
事業概要	障害の程度が重い児童・生徒が多く通学する松原分校で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援補助教員を配置する。				対象	松原分校小学部・中学部		
					手段	補助教員の配置		
					意図	適切な学級運営の確保		

事業期間	R3以前	年度	～	R9	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	保険料	6千円	保険料	6千円	保険料	6千円				
	特別支援補助業務委託料	1,151千円	特別支援補助業務委託料	1,151千円	特別支援補助業務委託料	1,184千円				
	業務委託料									
	合計	1,157千円		1,157千円		1,190千円				
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	1,157千円		1,157千円		1,190千円				
合計	1,157千円		1,157千円		1,190千円					
人工数 人件費	0.15人	860千円	0.26人	1,515千円	0.26人	1,537千円				
総経費		2,017千円		2,672千円		2,727千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	特別支援補助教員の配置人数	活動	1人	1人	1人	1人
			1人	1人	1人	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	松原分校には様々な障害のある児童生徒が通学しており、担任の教員だけでは十分に支援できないことについて、特別支援補助教員が児童生徒の安全確保や個別の支援に対応することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	休廃止	コスト	皆減	⑦
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

216 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	14	教職員の資質向上事業	2	外国語教育推進事業	2-(2)			政策的
	ALT(外国語指導助手)を小・中学校に派遣し、教員と連携した授業を実施して英語教育の充実を図っている。学習指導要領が改訂されたため、平成30年度から、小学校5・6年生の「外国語」と、3・4年生の「外国語活動」の試行を始めた。令和2年度の本格実施を見据え、必要なALTを確保するため、令和元年度からALTを3人から5人に増員し、かつ処遇改善を図った。令和5年度にALTの配置を5人から4人に減員し、ALTによる授業補助の取組に加えて、従来からの課題である「話す」力を育てるために、1人1台端末を有効活用し、中学校1年生から3年生に英会話学習アプリ「TerraTalk(テラトーク)」を本格的に導入し英語教育の充実を図る。				対象	小・中学校児童生徒		
					手段	ALTを公募により採用し学校に派遣及び学習アプリの導入		
					意図	ALTと触れ合うことで、外国語に親しみながら、1人1台端末を活用した学校・家庭学習の推進		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
	会計年度任用職員報酬	13,135千円		会計年度任用職員報酬	12,000千円	会計年度任用職員報酬	12,000千円	会計年度任用職員報酬	12,000千円	会計年度任用職員報酬
社会保険料等	2,095千円		社会保険料等	1,911千円	社会保険料等	2,450千円	社会保険料等	2,450千円	システム利用料	4,421千円
			システム利用料	4,420千円	システム利用料	4,420千円	システム利用料	4,420千円	社会保険料等	1,971千円
合計	15,230千円		18,331千円		18,870千円		18,392千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
地方債										
その他										
一般財源	15,230千円		18,331千円		18,870千円		18,392千円			
合計	15,230千円		18,331千円		18,870千円		18,392千円			
人工数 人件費	0.10人	573千円	0.05人	291千円	0.05人	296千円				
総経費	15,803千円		18,622千円		19,166千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	ALT派遣日数	活動	750日	600日	600日	600日
			648日	593日	592日	
			86.40%	98.83%	98.66%	
2	アンケートで「外国語活動の勉強は大切だと思うか」との問いに、「そう思う」と回答した児童の割合(小6年生)	成果	80%	80%	80%	80%
			79.1%	74.7%	76.5%	
			98.88%	93.38%	95.62%	
3	アンケートで「英語の授業の内容を理解しているか」との問いに、「理解している」「どちらかといえば理解している」と回答した生徒の割合(中3年生)	成果	80%	80%	80%	80%
			57.5%	51.4%	54.2%	
			71.88	64.25%	67.75%	

成果	令和5年度から、ALTを5人から4人に減員。中学校においては、英会話学習アプリ「TerraTalk(テラトーク)」を導入した。				
R8年度に向けた課題及び改善策	過去3年間の「TerraTalk(テラトーク)」の活用状況や成果を確認しながら生成AIの導入・活用を検討していく。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

217 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	14	教職員の資質向上事業	3	学校司書配置事業	2-(2)			政策的
	全ての小・中学校に学校司書を配置して、学校における読書活動を推進している。読書の機会の充実による読書活動の推進や授業での学校図書館の活用促進を行うとともに、学校図書館担当教員等の資質向上を図る。				対象	小・中学校児童生徒及び教員		
					手段	司書資格又は教員免許を有する人を任用して、小・中学校に配置する。		
					意図	読書習慣の定着、授業での図書を活用、学校間の図書の相互利用の推進		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	会計年度任用職員給料諸手当	27,296千円	会計年度任用職員給料諸手当	30,053千円	会計年度任用職員報酬等	36,890千円	会計年度任用職員報酬等	35,988千円		
	社会保険料等	7,119千円	社会保険料等	5,771千円	社会保険料等	5,214千円	社会保険料等	6,651千円		
	合計	34,415千円	合計	35,824千円	合計	42,104千円	合計	42,639千円		
	財源内訳/割合									
国庫支出金										
県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	34,415千円		35,824千円		42,104千円		42,639千円			
合計	34,415千円		35,824千円		42,104千円		42,639千円			
人工数 人件費	0.15人	860千円	0.10人	583千円	0.10人	591千円				
総経費	35,275千円		36,407千円		42,695千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	学校司書配置校数	活動	17校	17校	17校	17校
			17校	17校	17校	
			100%	100%	100%	
2	小学校における年間貸出し冊数 (目標値の基準:週1冊以上×50週)	成果	52冊	52冊	52冊	52冊
			45冊	50.8冊	55.5冊	
			86.54%	97.69%	106.73%	
3	中学校における年間貸出し冊数 (目標値:月1冊×10か月)	成果	10冊	10冊	10冊	10冊
			6.3冊	7.8冊	8.1	
			63%	78.00%	81.00%	

成果	1人が2校を兼務する体制を維持(現状11人)しながら、全ての小・中学校に学校司書を配置。全校配置により、学校司書の専門的な知識・経験に基づき、授業に関連する図書の展示をする等、学校図書館が整備され、読書環境が整うことで児童生徒の読書習慣も定着してきた。更に、読み聞かせや授業支援の活動により、子どもと本をつなげる架け橋的役割を十分に果たしている。また、児童生徒の電子図書館の利用にも大きく貢献している。					
R8年度に向けた課題及び改善策	国や県における計画や学習指導要領にしたがって、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童生徒の自主的、自発的読書活動を充実させ、子どもの読書習慣を定着させる必要がある。また、中央図書館との連携が始まり、公立図書館と連携した学校図書館の新たな読書環境を整えるためにも学校司書の全校配置を維持する必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

218 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021404

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	14	教職員の資質向上事業	4	教員業務支援員配置事業				政策的
	教員の働き方改革の取組として、教員業務支援員を配置し、学校の事務的業務を補助することにより、教員の長時間勤務の削減を図る。				対象	小・中学校の教員		
					手段	学校に教員業務支援員を配置して、教員が行っているの事務的業務の一部を補助する。		
				意図	教員の長時間勤務の削減			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	会計年度任用職員報酬等	4,610千円	会計年度任用職員報酬等	5,405千円	会計年度任用職員報酬等	7,105千円	会計年度任用職員報酬等	7,446千円		
	社会保険料等	487千円	社会保険料等	190千円	社会保険料等	8千円	社会保険料等	568千円		
	合計	5,097千円	5,595千円	7,113千円	8,014千円					
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	
	地方債									
	その他									
	一般財源		3,147千円		3,645千円		5,163千円		6,064千円	
合計	5,097千円	5,595千円	7,113千円	8,014千円						
人工数 人件費	0.05人	287千円	0.02人	117千円	0.12人	709千円				
総経費	5,384千円	5,712千円	7,822千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	教員(学校)業務支援員配置人数	活動	5名	5名	5名	5名
			5名	5名	5名	
			100%	100%	100%	
2	配置校の教員の時間外勤務時間数の削減率(平成30年度比)	成果	20%削減	20%削減	20%削減	20%削減
			32.9%削減	34.2%削減	36.3%削減	
			164.5%	171.00%	181.50%	
3						

成果	市内大規模校に教員業務支援員を配置しているが、時期によって増減率の差はあるものの、総合的に見ると勤務外時間数は削減し、目標を達成している。 業務を補助してもらえることによって生じた時間を、教育相談活動や成績処理、保護者への対応、授業準備等の業務に充てることができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	学校の窓口である事務室は、事務職員一人で業務を行っており、教員からの依頼や要望に応えられる状況にはない。学校における働き方改革は、学校の指導・運営体制の整備と一体的に進めることが重要であり、教員業務支援員の配置により、教員の時間外在校等時間の削減や業務改善に向けて更なる取組を進めていく必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	令和7年度から教員業務支援員配置事業費補助金の補助対象経費の上限が引き上げられている。					

R6年度 事務事業評価シート

219 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 226021504

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	15	小中学校保健衛生事業	4	健康診断器材の滅菌消毒業務委託				行政内部管理
	学校の健康診断で使用される医療器材(鼻鏡・歯鏡)の洗浄は、これまで養護教諭が煮沸消毒をしていたが、煮沸消毒では滅失しない菌もあると言われている。医療器材の洗浄・滅菌を専門業者が代行することで、新型コロナウイルス感染症等のウイルス感染の危険性を回避することができ、安全な運用・管理を行うことができるため、滅菌をする専門業者に委託することで、感染症予防の強化を図る。さらに、洗浄・梱包・滅菌処理を業者に一括して依頼することで、各学校に設備や機器を持つ必要が無く、業者で医療器材の保管・配送等の運用管理も行うため、養護教諭の作業時間の削減や2次感染リスクの軽減にもつながっている。				対象	小・中学校		
					手段	健康診断に使用する器材を滅菌消毒の専門業務に委託		
					意図	感染症予防の強化・安全性の確保		

事業期間	R3	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	消毒業務委託料	952千円		消毒業務委託料	963千円		消毒業務委託料	950千円	消毒業務委託料	1,065千円
	合計	952千円		963千円		950千円		1,065千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金	10/10	952千円							
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源				963千円		950千円		1,065千円	
合計		952千円		963千円		950千円		1,065千円		
人工数 人件費	0.10人	573千円		0.11人	641千円		0.11人	650千円		
総経費		1,525千円		1,604千円		1,600千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	対象小・中学校数	活動	17校	17校	17校	17校
			17校	17校	17校	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	医療器材(鼻鏡・歯鏡)の洗浄・滅菌・管理を、専門業者に委託することにより、健康診断を安全に受診することができた。 また、養護教諭の準備作業の軽減を図ることができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	健診で使用される医療器材の洗浄・滅菌を専門業者に代行することは、新型コロナウイルス感染症等のウイルス感染の危険性を回避することができるため、今後も安全な運用・管理を行う必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

220 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226030402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	2	小学校社会科副読本デジタル化事業		デジタル化		政策的
	小学校3・4年生の社会科学習では、地域を教材化した副読本を使用し授業を実施している。副読本「はっけん！山陽小野田」は、本市の歴史や文化・産業、主要施設など、地域の情報を掲載している。 令和5年度は新学習指導要領を踏まえて、本市の現状に合うように副読本を改訂する必要があり、この機会に、これからの学習者用デジタル教科書の導入の流れに向けて、1人1台端末を効果的に活用し、副読本のデジタル教科書化を推進する。 また、一般の大人もWebで閲覧が可能となるため、市内外の人に、本市の住みよさや歴史、文化を知ってもらい、住んでみたいと思ってもらえるよう、シティセールスのツールとして活用する。				対象	社会科副読本		
					手段	デジタル社会科副読本を使用して、児童に本市の特色等を伝える。		
					意図	ふるさとへの愛着心を育む。		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳			普通旅費	5千円	システム保守委託料	548千円	システム保守委託料	548千円
			システム保守委託料	9,155千円				
	合計			9,160千円		548千円		548千円
	財源内訳/割合		1/2	4,577千円				
					ふるさと支援基金	548千円	ふるさと支援基金	548千円
			一般財源	4,583千円				
			合計	9,160千円		548千円		548千円
人工数	0.10人		573千円	0.31人	1,806千円	0.22人	1,300千円	
総経費			573千円	10,966千円		1,848千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	デジタル社会科副読本を使用して授業を行った学校数	活動	(システム構築)	11校 11校 100.00%	11校
2					
3					

成果	事業者が決定した後、事業者と教育委員会担当者、編集委員等で定例会を行い、情報共有や各コンテンツ機能やその実装について協議を重ねた。 令和6年4月から、公開し、授業で活用している。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和6年4月から、デジタル副読本を小学3、4年生の授業での活用しており、一人一台端末の学習効果の上昇が期待できる。また、市ホームページ上でも一般公開しており、シティセールスのツールとしての活用も期待できる。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

221 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226030404

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進		3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	4	キャリア教育推進事業		2-(2)			政策的
	義務教育段階の子どもの社会的・職業的自立に向けて必要となる「基礎的・汎用的能力」を育てるとともに、夢を抱かせ、更に夢を志に進化させる教育の充実を図る。					対象	小・中学校児童生徒		
	主体的に自らの未来を切り開くとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもを育成するため、学校と家庭、大学、地域、産業界等が、連携・協力したキャリア教育を推進し、教育活動の一層の充実を図る。 本市出身者、または地元で活躍中(文化・スポーツ・起業家等様々な分野)の人材を招いて講演会等を開催する。					手段	職業体験・職業講話等の実施		
					意図	夢や志、つながりの実感を通じて郷土に誇りと愛着を持つ。			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	講師謝礼	264千円		講師謝礼	245千円	講師謝礼	312千円	講師謝礼	600千円	
	消耗品費	20千円		消耗品費	10千円	消耗品費	10千円	消耗品費	30千円	
				通信運搬費	7千円	通信運搬費	5千円	通信運搬費	30千円	
	合計	284千円		262千円		327千円		660千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	284千円	ふるさと支援基金	262千円	ふるさと支援基金	327千円	ふるさと支援基金	660千円	
一般財源										
合計	284千円		262千円		327千円		660千円			
人工数	0.12人	688千円	0.06人	350千円	0.06人	355千円				
総経費	972千円		612千円		682千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	全国学力調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問に対し、肯定的な回答をした児童の割合	成果	75%	75%	75%	75%
			86.4%	84.1%	85.9%	
			115.2%	112.10%	114.50%	
2	全国学力調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合	成果	75%	75%	75%	75%
			73.6%	73.1%	71.7%	
			98.13%	97.50%	95.60%	
3	実施校数	活動	18校	18校	18校	18校
			13校	17校	18校	
			72.22%	94.40%	100.00%	

成果	小・中学校において、講師を招聘し、キャリア教育に関する講演等を実施した。特に、地元で活躍されている方々のお話や、地元の学校を卒業され活躍されている方々のお話を聞くことで、郷土の誇りや愛着を感じたり、自身の生き方を考えたりする機会となった。					
R8年度に向けた課題及び改善策	地元で活躍される講師人材の選定をするために、商工会議所等と地域の団体との連携を一層強めていくこと。また、小学校と中学校9年間で、系統的にキャリア教育を推進していくこと。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

222 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226030405

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進		3	指導内容・方法の工夫	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	5	スマイル・サイエンス事業		2-(2)	理科大	政策的
	義務教育段階から科学に対する興味、関心を喚起し、科学体験に重点を置いた理数教育の充実を図る。 山口東京理科大学との教育連携協定の一つとして、大学キャンパスを会場とし科学体験・科学作品展を開催する。					対象	小・中学校児童生徒	
					手段	科学体験・科学作品展を行う。		
					意図	科学に対する興味・関心の喚起 様々なことと挑戦する態度・創造的な能力を育成する。		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	賞賜金	20千円	賞賜金	18千円	会場設営委託料	140千円	会場設営委託料	274千円		
	消耗品費	4千円	消耗品費	12千円	消耗品費	85千円	消耗品費	164千円		
			印刷製本費		報償金	17千円	報償金	36千円		
			会場設営委託料	120千円	賞賜金	22千円	賞賜金	26千円		
			報奨金	19千円						
	合計	24千円		169千円		264千円		500千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	24千円	ふるさと支援基金	169千円	ふるさと支援基金	264千円	ふるさと支援基金	500千円	
	一般財源									
合計	24千円		169千円		264千円		500千円			
人工数 人件費	0.15人	860千円	0.20人	1,165千円	0.26人	1,537千円				
総経費	884千円		1,334千円		1,801千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	参加者の中で理科に関心、興味が高まったと回答した割合 (ほんものの科学体験アンケート結果)	成果	80%	80%	80%	80%
			91.6%	92.8%	93%	
			114.5%	116.00%	116.25%	
2	参加者の中で理科に関心、興味が高まったと回答した割合 (科学作品展来場アンケート結果)	成果	80%	80%	80%	80%
			96.3%	98.0%	100%	
			120.38%	122.5%	125.00%	
3						

成果	科学作品展審査を行い、小学校応募数457点中112点・中学校応募作品数948点中54点の作品が展示される予定であったが、山口東京理科大学の大学開放デーが急遽中止となった。しかし、日本学生科学賞山口県審査に進むこととなった10点については市長賞、教育長賞、理事長賞、学長賞を選出し、表彰及び11月市民館にて展示した。ほんものの科学体験講座の取組により、児童生徒が理科に対する興味関心も高まり、応募作品も優れた内容が多かった。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和6年度において、中学校の体育祭の日程が遅くなったことから、雨天順延の場合、大学開放デーと日程が重なる可能性が出てきたため、令和7年度は1週遅く実施する計画である。また、よりよい作品展となるよう、理科大と会場の検討も含め、協議を行っている。今後も、さまざまな科学実験等を実際に見て・聴いて・体験する場を設ける等、山口東京理科大学との教育連携の強化を図る。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

223 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 226030407

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	7	楽器購入事業				政策的	
事業概要	市内の小・中学校及び埴生幼稚園の楽器が老朽化しているため、楽器を購入する。特に中学校では、吹奏楽部で使う楽器は高額なものが多く、壊れたり不足したりしても購入が難しい状況である。令和4年度から令和6年度の3年間で寄附金を活用して楽器を購入し、音楽教育の充実を図る。				対象	小・中学校児童生徒及び埴生幼稚園園児		
					手段	小・中学校及び埴生幼稚園に楽器を購入する。		
					意図	新しい楽器に触れ、音楽教育の充実を図る。		

事業期間	R4 年度 ~		R6 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	校用器具費	3,461千円	校用器具費	4,762千円		校用器具費	7,299千円		
	合計	3,461千円		4,762千円			7,299千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	ふるさと支援基金	3,461千円	ふるさと支援基金	4,762千円	ふるさと支援基金	7,299千円		
	一般財源								
合計		3,461千円		4,762千円			7,299千円		
人工数 人件費	0.05人	287千円	0.04人	233千円		0.03人	177千円		
総経費		3,748千円		4,995千円			7,476千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	楽器購入校	活動	17校	17校、1園	17校	
			17校	17校、1園	17校	
			100%	100%	100.00%	
2						
3						

成果	令和4年度から令和6年度にかけて寄附金を活用して楽器を購入し、音楽教育の充実を図れた。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

224 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 226030408

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	8	図書購入事業				政策的
	市民から寄せていただいた寄附金を活用し、市内の小・中学校及び埴生幼稚園における学校図書館等の図書充実を図る。 多くの子どもたちが読書に魅力を感じるために、多様な興味に応えられる図書の充実を図れるよう、令和5年度から令和6年度の2年間をかけて、いろいろな種類の図書を整備し、意欲的な学習活動や読書活動を推進する。 【3月補正】 寄附金を、寄附金を、高千帆小学校及び有帆小学校の図書購入費に充てる。				対象	小・中学校児童生徒及び埴生幼稚園園児		
					手段	小・中学校及び埴生幼稚園に図書を購入する。		
				意図	学校図書館等の図書充実を図ることで、読書活動を推進する。			

事業期間	R5 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			図書購入費	1,244千円	図書購入費	1,266千円		
	合計			1,244千円		1,266千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他			ふるさと支援基金、教育費寄附金	1,244千円	ふるさと支援基金、教育費寄附金	1,266千円	
	一般財源							
合計				1,244千円		1,266千円		
人工数 人件費			0.02人	117千円	0.02人	118千円		
総経費				1,361千円		1,384千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	図書購入学校数 (埴生幼稚園含む)	活動		17校、1園	17校、1園
				17校、1園	17校、1園
				100.00%	100.00%
2					
3					

成果	市内小中学校及び埴生幼稚園に図書を購入し、学校図書の充実を図った。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

225 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 226040302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	4	学校間連携教育の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	小中一貫・連携教育推進事業	2	小規模特認校制度導入事業	2-(2)			政策的
	小人数ならではの温かい指導や、地域と連携した特色ある教育活動が展開されている小規模校において、教育を受けることを希望する児童生徒や保護者に対し、新たに小規模特認校制度に関する規則等を制定し、一定の条件のもとで転入学を認める小規模特認校制度を導入する。 R7年度導入:山陽小野田市立厚陽小中学校				対象	小・中学校児童生徒		
					手段	小規模特認校制度の導入		
				意図	児童生徒数の増加を図り、学校と地域の活性化に繋げる。			

事業期間	R6 年度	～	R11以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					消耗品費		消耗品費	16千円
					普通旅費	5千円	普通旅費	4千円
合計						5千円		20千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						5千円	20千円
合計						5千円		20千円
人工数 人件費					0.12人	709千円		
総経費						714千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	勉強会及び学校見学会の開催 (勉強会はR6のみ)	活動		3回 3回 100.00%	1回
2					
3					

成果	少人数ならではのきめ細かい指導や地域と連携した特色ある教育活動が展開されている。市の広報やHP等を活用して周知を行い、学校見学会では11人の参加者得ることができた。令和7年度は、児童1名、生徒1名の就学につながった。					
R8年度に向けた課題及び改善策	地域と連携した特色ある学びに加え、英語教育や図書館教育に特化した言語活動の充実を掲げ、魅力の発信に努める。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

226 課・局・室・所(係) 社会教育課 社会教育係 事務事業番号 227010402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
事業概要	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	社会教育関係団体育成・支援事業	2	第22回やまぐち教育の日・第51回教育県民大会実施事業				政策的
地域の教育力の向上、社会教育の振興を図ることを目的に第22回やまぐち教育の日・第51回教育県民大会厚狭地区大会を開催するに当たり、山口県教育会に負担金を支出した。					対象	社会教育関係団体等		
開催日/令和6年11月2日 会場/不二輸送機ホール					手段	共同開催		
					意図	社会教育の振興		

事業期間	R6 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					開催経費負担金	200千円		
合計					200千円			
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					200千円		
合計					200千円			
人工数 人件費					0.00人	千円		
総経費					200千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	負担金の支出	活動			支出 支出 100.00%	
2						
3						

成果	令和6年11月2日に不二輸送機ホールで開催され、地元から高千帆中学校と山口東京理科大学が、「学校と地域のつながり」について事例発表を行った。 県内から400人の参加があった。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

227 課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央・厚狭図書館 事務事業番号 227011003

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
10	読書活動推進事業	3	子ども読書活動推進計画推進事業(臨時分)	2-(3)		知守	政策的	
事業概要	令和4年度に策定した「山陽小野田市子ども読書活動推進計画(第四次計画)」に基づき、子どもの読書活動を推進していく。主な取組として、「絵本で子育て出前講座」を開催し、切れ目のない読書活動を推進する。				対象	概ね5歳以下の子ども及びその家族		
					手段	児童書の購入、絵本の読み聞かせなど		
					意図	全ての子どもがあらゆる機会及び場所において、自主的に読書活動を行うことができるように、環境づくりを行う		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	講師謝礼	90千円	講師謝礼	90千円	講師謝礼	80千円	講師謝礼	120千円		
	消耗品費	39千円	消耗品費	43千円	消耗品費	41千円	委員報酬	48千円		
	委員報酬	24千円					消耗品費	14千円		
	合計	153千円		133千円		121千円		182千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	153千円		133千円		121千円		182千円		
合計	153千円		133千円		121千円		182千円			
人工数 人件費	0.43人	2,059千円	0.43人	2,120千円	0.25人	1,155千円				
総経費		2,212千円		2,253千円		1,276千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	「絵本で子育て出前講座」参加者数	活動	200人	200人	200人	200
			216人	282人	259人	
			108.00%	141.00%	129.50%	
2						
3						

成果	「子ども読書活動推進計画(第四次計画)」について、絵本で子育て出前講座等を実施し子どもの読書活動を推進した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	「子ども読書活動推進計画(第四次計画)」で策定した、活動計画を推進していく必要がある。令和7年度が第四次計画の中間年であるため、計画の実施状況と課題の検討を行う。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

228 課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央図書館 事務事業番号 227011105

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
11	図書館管理事業	5	電子書籍購入事業	2-(3)	デジタル化	知守	政策的	
事業概要	令和3年度から、コロナ禍の対応及びデジタルの推進で、貸出機会の増加、図書館利用者層の拡充を目的に電子図書館システムを導入した。今後も、電子書籍のコンテンツを更に充実させるために年次的に電子書籍を購入する。(利用期限切れの電子書籍の再購入や新刊購入が必要なため)				対象	市内に在住・在勤・在学する者		
					手段	電子図書館を運営し利用者を確保する。		
					意図	来館しなくても、インターネットを通じて電子書籍の検索・貸出・返却・閲覧が可能であり、図書館利用者の利便性の向上となる。		

事業期間	R3	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	電子図書サービス利用料	6,999千円		電子図書サービス利用料	3,000千円		電子図書サービス利用料	3,000千円	電子図書サービス利用料	1,500千円
	合計	6,999千円		3,000千円		3,000千円		1,500千円		
	国庫支出金	1/2	3,500千円	1/2	1,250千円					
	県支出金									
財源内訳/割合	地方債									
	その他				500千円		500千円		250千円	
	一般財源		3,499千円		1,250千円		2,500千円		1,250千円	
	合計		6,999千円		3,000千円		3,000千円		1,500千円	
人工数	人件費	0.53人	2,700千円	0.63人	2,902千円	0.55人	2,888千円			
総経費		9,699千円		5,902千円		5,888千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	電子図書館新規登録者数	成果	600人	300人	300人	315
			4,831人	698人	658人	
			805.17%	232.67%	219.33%	
2	電子図書館貸出冊数	成果	6,000冊	6,000冊	6,000冊	6,000冊
			3,256冊	11,247冊	8,931冊	
			54.27%	187.45%	148.85%	
3	電子図書購入冊数	活動	2,168冊	649冊	649冊	325冊
			1,170冊	731冊	686冊	
			53.97%	112.63%	105.70%	

成果	令和5年度から、市内のすべての小学生・中学生にIDとパスワードを配布し電子図書館の利用が出来るように小中学校と連携協の結果、電子図書館の利用が活発になり貸出冊数が令和5年度に引き続き目標冊数を大きく上回った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	電子図書館の一層の利用促進を図る必要があるため、今後も積極的なPRを展開し電子図書館の利便性や魅力を伝える。また、来館困難者や小・中・高校生の利用に向けて、それぞれのニーズに合わせて幅広く魅力ある電子書籍を継続的に購入し、電子書籍を充実させる必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	拡大	①	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

229 課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央図書館 事務事業番号 227011201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	12	図書館施設整備事業	1	中央図書館照明器具改修工事事業				政策的
	中央図書館は開館28年を経過し、蛍光灯器具に老朽化により故障するものが増加してきた。水銀灯については、製造が終了し器具の改修が必要である。全体的な照明設備の見直しが必要な時期となっており、これを機会にLED照明に変更し、消費電力の減少による二酸化炭素の削減等で環境への配慮、施設の維持管理が長期間可能となるよう努める。 【3月補正】 入札減に伴い決算を見込んで減額補正を行う。				対象	中央図書館内の照明器具		
					手段	館内照明器具の更新		
					意図	設備の長寿命化・環境にやさしい施設づくり		

事業期間	R5 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			設計委託料	490千円	工事請負費	54,777千円		
					時間外勤務手当	156千円		
	合計			490千円		54,933千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		90%	400千円	90%	49,200千円		
	その他							
	一般財源			90千円		5,733千円		
合計				490千円		54,933千円		
人工数 人件費	0.02人	115千円	0.07人	408千円	0.63人	3,724千円		
総経費		115千円		898千円		58,657千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	来館者数(中央図書館)	活動	75,000人	75,000人	75,000人	
			94,185人	99,968人	97,763人	
			125.58%	133.29%	130.35%	
2						
3						

成果	中央図書館の照明器具について、製造中止の水銀灯を含むすべての照明器具をLED照明に改修据えることが出来、館内の照明が明るくなり、電気料金の削減効果もあった。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

230 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 228010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	28	次世代の学校・地域創生の推進	1	学校・家庭・地域の連携の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	コミュニティ・スクール推進事業	2	スクールアドバイザー配置事業	2-(3)		交流	政策的
	コミュニティ・スクールの機能である「学校支援、学校運営、地域貢献」の充実を図るため、学校運営協議会、地域教育協議会での助言・支援や各種マネジメントを行うスクールアドバイザーを配置する。					対象	コミュニティ・スクール	
					手段	学校運営協議会での助言・支援や各種マネジメントを行う。		
					意図	コミュニティ・スクールの充実		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
	会計年度任用職員報酬等	1,847千円	会計年度任用職員報酬等	2,380千円	会計年度任用職員報酬等	2,475千円	会計年度任用職員報酬等	2,337千円		
	社会保険料等	304千円	社会保険料等	348千円	社会保険料等	455千円	社会保険料等	410千円		
合計	2,151千円		2,728千円		2,930千円		2,747千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	2,151千円		2,728千円		2,930千円		2,747千円		
合計	2,151千円		2,728千円		2,930千円		2,747千円			
人工数 人件費	0.10人	573千円	0.02人	117千円	0.02人	118千円				
総経費	2,724千円		2,845千円		3,048千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	学校運営協議会及び地域教育協議会への出席回数(各学校年2回) ※R5から各学校3回	活動	36回	36回	36回	36回
			74回	96回	90回	
			205.56%	266.67%	250.00%	
2	コミュニティ・スクールだよりの発行回数(月平均2回) ※R5から月平均3回	活動	24回	24回	24回	24回
			36回	43回	42回	
			150%	179.17%	175.00%	
3						

成果	各校においては、コロナ禍の影響を受け、これまでの取組の見直しを図るとともに新たな学校・家庭・地域の連携・協働の在り方を構築する動きが生み出されているが、アドバイザーの支援によりその強化を図ることができた。また、小学6年生、中学3年生、教職員、学校運営協議会委員を対象とした意識調査結果を踏まえ、各校の取組に対する効果検証を行うとともに重点取組事項を明確に示唆することで学校運営協議会のさらなる活性化を図った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	中学校区ごとに策定した「学校・地域連携カリキュラム」について、育成をめざす資質・能力を明確にさせ、地域との連携・協働による教育実践のさらなる充実に向けた指導・助言を行っていく。また、ICTを活用した探究的な学びの深化を図っていく必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

231

課・局・室・所(係)

社会教育課

人権教育係

事務事業番号

228010302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	28	次世代の学校・地域創生の推進	1	学校・家庭・地域の連携の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	家庭教育支援事業	2	家庭教育支援事業(中学校区分)	2-(3)		知守 交流	政策的
	「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、地域の実情に応じた家庭教育支援を行うため、各中学校区において活動を推進する。小学校区ごとに行ってきた既存の活動を中学校区に広げ、小野田中学校区家庭教育支援チームを立ち上げ、「親の学び」プログラムin小野田や子育てサロンなどを開催している。令和6年度は埴生小中学校区においても家庭教育支援チームを立ち上げ、活動を開始している。 学校との連携を生かして、幼稚園、保育所、小学校、中学校の保護者のつながりづくりを行い、家庭教育の充実に向け、取り組んでいく。				対象	子育て中の保護者		
					手段	家庭教育支援チームによる支援		
					意図	子育て中の保護者の不安を解消する		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	印刷製本費	42千円	消耗品費	5千円	報償費	60千円	報償費	144千円		
	保険料	2千円	印刷製本費	44千円	消耗品費	38千円	保険料	16千円		
					保険料	4千円				
	合計	44千円		49千円		102千円		160千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	2/3	28千円	2/3	32千円	2/3	69千円	2/3	106千円	
	地方債									
	その他									
	一般財源	一般財源	16千円		17千円		33千円		54千円	
合計	44千円		49千円		102千円		160千円			
人工数	0.10人	573千円	0.15人	874千円	0.20人	1,182千円				
総経費		617千円		923千円		1,284千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	子育て講座回数	活動	2回	2回	2回	2回
			1回	2回	5回	
			50.00%	100.00%	250.00%	
2	子育て講座満足度	成果	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90%以上
			90.00%	97.00%	100.00%	
			90.00%	90.00%	110.00%	
3	研修会の開催	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	2回	2回	
			100.00%	200.00%	200.00%	

成果	令和6年度は4月と10月に小野田中学校において、「親の学び」プログラムを開催した。4月は、主に新入生の保護者を対象に、情報交換や交流のできる場を提供し、10月は学校行事に併せて、全校生徒保護者を対象に実施した。埴生小中学校区において、新規に家庭教育支援チームを立ち上げ、学校行事に併せ、6月、9月、2月に保護者交流会を行った。また、県・市合同研修会へ参加し、研修機会の提供も行っている。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和8年度以降も継続して、「親の学び」プログラムを開催できるように、学校と支援チームの連携を深めていく必要がある。埴生小中学校区に関しては、チーム立上初期であるため、参加者が少ないのが現状であり、今後は周知を進める必要がある。両チームともに、持続可能な活動となるように支援チーム員と綿密な情報共有と協議を行いながら、準備を進めていく。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

232

課・局・室・所(係)

企画課

事務事業番号

229010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業	3	公立大学法人山口東京理科大学運営費交付金事業					行政内部管理	
事業概要	地方独立行政法人法第42条に基づき、山陽小野田市が設立した公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の業務の財源に充てるために、運営費交付金を交付する。					対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学		
						手段	運営費交付金を交付する。		
						意図	公立大学法人の業務遂行に必要な財源を措置する。		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	運営費交付金	1,620,304千円	運営費交付金	1,743,628千円	運営費交付金	2,041,666千円	運営費交付金	2,255,014千円		
	合計	1,620,304千円	1,743,628千円	2,041,666千円	2,255,014千円					
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		公立大学法人運営基金繰入金	2,000千円						
一般財源	1,620,304千円	1,741,628千円	2,041,666千円	2,255,014千円						
合計	1,620,304千円	1,743,628千円	2,041,666千円	2,255,014千円						
人工数 人件費	0.22人	1,261千円	0.35人	2,039千円	0.05人	296千円				
総経費	1,621,565千円	1,745,667千円	2,041,962千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	工学部の学生数(入学定員:300人×4年=収容定員1,200人)	成果	800人	860人	960人	1,060人
			860人	922人	1,039人	
			107.50%	107.21%	108.23%	
2	薬学部の学生数(入学定員120人×6年=収容定員720人)	成果	600人	720人	720人	720人
			597人	714人	735人	
			1.00%	99.17%	102.08%	
3	大学院の学生数(工学研究科:収容定員78人、薬学研究科:収容定員20名)	成果	39人	39人	59人	94人
			42人	51人	66人	
			107.69%	130.77%	111.86%	

成果	学生数は工学部、薬学部、大学院において目標人数(収容定員)を上回っており、運営費交付金等の市からの財源措置と授業料収入等の公立大学法人の自主財源により、順調な法人及び大学運営が行われている。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

233

課・局・室・所(係)

企画課

事務事業番号

229010104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業	4	公立大学法人山口東京理科大学運営基金積立事業				行政内部管理	
事業概要	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の健全な運営等を支援するため、山陽小野田市立公立大学法人運営基金条例に基づき基金を設置し、計画的に積み立てを行う。				対象	公立大学法人運営基金		
					手段	基金積立		
					意図	将来の大学の施設整備等のため、計画的に基金を積み立て、健全な運営を保つ。		

事業期間	R1以前	年度 ~	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	基金積立金	67,789千円	基金積立金	135,125千円	公立大学法人運営基金積立金	183,562千円	公立大学法人運営基金積立金	218,394千円	
	合計	67,789千円		135,125千円		183,562千円		218,394千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	公立大学法人納付金、寄附金	1,050千円						
	一般財源		66,739千円		135,125千円		183,562千円		218,394千円
合計		67,789千円		135,125千円		183,562千円		218,394千円	
人工数 人件費	0.12人	688千円	0.15人	874千円	0.05人	296千円			
総経費		68,477千円		135,999千円		183,858千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	山陽小野田市公立大学法人運営基金の年度末残高	667,940千円	825,944千円	972,177千円	1,247,632千円
		746,962千円	880,094千円	1,064,132千円	
		111.83%	106.56%	109.46%	
2					
3					

成果	継続的に基金への積立ができており、基金残高は増加している。				
R8年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

234

課・局・室・所(係)

企画課

事務事業番号

229010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	公立大学法人山口東京理科大学施設整備事業	1	公立大学法人山口東京理科大学施設整備事業					政策的
	平成28年4月に公立化した山陽小野田市立山口東京理科大学の教育研究活動に必要な校舎、研究機器類等の施設、設備の整備・充実を行う。					対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学		
						手段	大学校舎及び設備等の整備・充実		
					意図	地方創生の推進に貢献する「知(地)の拠点」の役割を果たす高等教育機関としての機能を強化する。			

事業期間	R1以前	年度 ~	R6	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	消耗品費	2千円	燃料費	10千円	普通旅費	78千円	施設整備補助金	709,633千円	
	燃料費	10千円	保険料	65千円	燃料費	12千円	光熱水費	1,300千円	
	修繕料	2,970千円	機械器具借上料	172千円	保険料	65千円	警備委託料	750千円	
	保険料	275千円	施設整備補助金	134,717千円	機械器具借上料	172千円	機械器具借上料	172千円	
	機械器具借上料	172千円	テレビ共同受信施設組合負担金	94千円	テレビ共同受信施設組合負担金	94千円	消耗品費	100千円	
	施設整備補助金	204,281千円					テレビ共同受信施設組合負担金	94千円	
	テレビ共同受信施設組合負担金	94千円					その他	36千円	
	合計	207,804千円		135,058千円		421千円		712,085千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債	75%	153,200千円	75%	101,000千円		75%	532,200千円	
	その他	公立大学法人運営基金	37,653千円						
	一般財源		16,951千円		34,058千円		421千円	179,885千円	
合計	207,804千円		135,058千円		421千円		712,085千円		
人工数	0.50人	2,866千円	0.50人	2,913千円	0.40人	2,365千円			
総経費		210,670千円		137,971千円		2,786千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	グラウンド整備への補助金交付	活動	交付(設計・工事分)			
			交付			
			100.00%			
2	駐車場・テニスコート整備への補助金交付	活動	交付(工事分)	交付(設計・工事分)	交付(工事分)	
			交付	交付	不交付	
			100.00%	100.00%	0.00%	
3						

成果	市が交付する施設整備費補助金を財源に、公立大学法人が実施する駐車場・テニスコート整備事業は、軟弱地盤対策等の追加工事が必要となったため、工期末の令和6年3月末における工事進捗率は8割程度となり、工期内に完了しなかった。そのため、令和6年度は公立大学法人に対して施設整備費補助金を交付していない。(令和7年7月1日に完了)					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

235 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化会館 事務事業番号 230010403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	文化会館維持整備事業	3	文化会館改修事業	3-(2)			政策的
	館内各所の雨漏りを解消するため、屋上防水工事を5箇年に分けて年次的に実施する(令和6年度は3期工事)。令和6年度は、大ホールステージ上の屋上防水工事を実施する。また、令和5年度に完了した老朽化調査及び中長期整備計画に基づき、今後の整備範囲を見定めるとともに、令和7年度以降の改修に係る予算獲得に向けて財源の確保など早急に検討を進める。				対象	文化会館		
					手段	老朽化調査、整備計画の策定		
				意図	施設や機器の長寿命化を図るとともに来館者に文化会館を安心安全、快適に利用してもらう			

事業期間	R4 年度	～	R11以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	防水工事請負費(1期)	16,632千円	防水工事請負費(2期)	24,046千円	防水工事請負費(3期)	20,966千円	防水工事請負費(4期)	18,484千円	
	委託料(アスベスト調査)	95千円	調査委託料	34,100千円			消耗品費	61千円	
	委託料(老朽化調査・整備計画)	150千円							
	合計	16,877千円		58,146千円		20,966千円		18,545千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債	90%	14,900千円	90%	21,600千円	90%	18,800千円	90%	16,600千円
	その他	まちづくり魅力基金		まちづくり魅力基金	34,100千円				
	一般財源		1,977千円		2,446千円		2,166千円		1,945千円
合計		16,877千円		58,146千円		20,966千円		18,545千円	
人工数 人件費	0.92人	5,274千円	0.86人	5,010千円	0.45人	2,320千円			
総経費		22,151千円		63,156千円		23,286千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	改修工事に向けた業務委託等	活動	老朽化調査等	老朽化調査等	改修方針協議	未定
			未了	完了	完了	
			0.00%	100.00%	100.00%	
2	屋上防水工事	活動	1期	2期	3期	4期
			完了	完了	完了	
			100.00%	100.00%	100.00%	
3						

成果	大ホール屋上部にあたる防水シートを更新した結果、雨漏りが解消された。					
R8年度に向けた課題及び改善策	屋上防水シート更新については引き続き実施する。また、令和5年度に完了した老朽化調査及び中長期整備計画の提案を基に、利用者の安全性及び利便性の向上を中心とした、今後10年間、館を維持するために必要最低限の改修を行う。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	文化会館改修方針については、令和6年12月13日に市長・副市長協議済み。					

R6年度 事務事業評価シート

236 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230010501

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	世代別市民文化度育成事業	1	(主催)アウトリーチ事業(臨時)				政策的
	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも、身近な場所で誰もが参加しやすい文化芸術の鑑賞・体験機会を提供するため、地域交流センターや学校、保育所などの福祉・教育施設や民間施設等でアウトリーチ事業を実施する。市民一人ひとりの文化習慣を高め、地域の文化力向上を目指し、レベルの高い企画を提供する。				対象	市民ほか		
					手段	芸術鑑賞機会の提供		
				意図	芸術文化に親しみ、創造性を豊かにする環境づくり及び生きがいがいづくり			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	報償費	274千円	報償金	167千円	報償金	434千円	報償金	400千円		
	委託料	100千円	消耗品費	27千円	消耗品費	9千円	消耗品費	60千円		
	消耗品費	12千円	食糧費	6千円	食糧費	10千円	食糧費	30千円		
	使用料	2千円	音響照明業務委託料	159千円	音響照明業務委託料	89千円	音響照明業務委託料	100千円		
			保険料	3千円				会場借上料	10千円	
			著作権使用料	5千円						
	合計	388千円		367千円		542千円		600千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	388千円	ふるさと支援基金	367千円	ふるさと支援基金	542千円	ふるさと支援基金	600千円	
	一般財源									
合計	388千円		367千円		542千円		600千円			
人工数	0.29人	1,452千円	0.16人	891千円	0.40人	2,365千円				
総経費	1,840千円		1,258千円		2,907千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	アウトリーチ実施回数	活動	2回	2回	2回	2回
			2回	2回	5回	
			100.00%	100.00%	250.00%	
2						
3						

成果	商業施設や保育園・幼稚園でコンサートを実施し、身近な場所で質の高い芸術文化にふれる機会を提供することで、芸術文化によるまちづくりの推進に寄与することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	市民がより芸術に親しみやすい環境づくりを検討する。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

237 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230010502

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	世代別市民文化度育成事業	2	(主催)子ども文化ふれあい事業				政策的
	子ども達に多彩なアーティストによる優れた公演を間近に体験させることにより、豊かな感情や情緒を育み、創造的で個性的な価値観を養うため、不二輪送機ホールに市内全6年生を一度に集めて夏休み前に芸術文化鑑賞会を実施する。				対象	市内全小学6年生及び未就学児		
	令和6年度は、月亭方正、月亭八光による上方落語及び太神楽を上演した。また、一般観客向けの夜公演を実施した。				手段	小学校及び幼稚園で開催する		
				意図	子どもたちに生の鑑賞機会を提供することで感動を体感してもらう			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	報償費	150千円	報償費	223千円	公演業務委託料	1,980千円	公演業務委託料	1,700千円		
	公演業務委託料	700千円	保険料	12千円	送迎業務委託料	931千円	送迎業務委託料	981千円		
	著作権使用料	3千円	著作権使用料 ほか	15千円	舞台業務委託料	66千円	舞台業務委託料	66千円		
	自動車借上料	11千円	手数料(調律)	15千円	手数料	2千円	手数料	42千円		
	食糧費	13千円	公演業務委託料	760千円	食糧費	14千円	食糧費	15千円		
	自動車借上料	25千円	送迎業務委託料	528千円	保険料	10千円	著作権等使用料	20千円		
			舞台業務委託料	110千円	その他	43千円	その他	30千円		
合計	902千円		1,663千円		3,046千円		2,854千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	902千円	ふるさと支援基金	1,663千円	入場料、企業版ふるさと納税	1,560千円	ふるさと支援基金	2,854千円	
	一般財源						1,486千円			
合計	902千円		1,663千円		3,046千円		2,854千円			
人工数 人件費	0.29人	1,452千円	0.22人	1,241千円	0.35人	2,069千円				
総経費		2,354千円		2,904千円		5,115千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	公演実施回数	活動	6回	3回	5回	2回
			6回	5回	2回	
			100.00%	167.00%	40.00%	
2	入場者数	成果	400人	800人	800人	900人
			485人	861	753	
			121.00%	107.60%	94.13%	
3						

成果	間近で芸術文化にふれ、鑑賞する機会を提供することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	優れた芸術文化にふれる機会であるとともに、芸術鑑賞のマナーを学ぶ貴重な機会にもなっているため、継続して開催していきたい。					
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

238 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020111

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	芸術文化活動支援育成事業	11	第24回全国中学校総合文化祭山口大会臨時分担金助成事業				政策的	
事業概要	市内小・中学校及び高等学校の文化芸術活動を支援するため、毎年「山口県中学校文化連盟分担金」を助成しているが、令和6年度は山口県が引き受けのため「全国中学校総合文化祭山口大会臨時分担金」の助成も行った。				対象	市内全中学校		
					手段	臨時分担金		
					意図	文化芸術活動を支援し、文化芸術に触れる機会を創出する		

事業期間	R6 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					山口県中学校文化連盟負担金 (臨時分担金)	151千円		
	合計					151千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						151千円	
合計						151千円		
人工数	人				0.01人	59千円		
総経費						210千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	助成件数	成果			実施 実施 100.00%	
2						
3						

成果	「全国中学校総合文化祭山口大会臨時分担金」の助成を行った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和8年度は他県での開催のため、経常的経費で「山口県中学校文化連盟分担金」を要求する。(事務事業名 9市内学校関係の育成・支援、補助事業)					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

239 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	ガラス文化推進事業	2	ガラス文化推進事業	3-(2)			政策的	
事業概要	市内外の行事等で出張ガラス体験教室を開催し、多くの人がガラス文化に興味を持つきっかけになるとともに、さらさらガラス未来館をPRし来館を促すことで、本市特有のガラス文化の推進を図った。				対象	全市民及びガラス文化に興味のある人		
					手段	市内外でさらさらガラス未来館によるガラス作品制作の出張体験教室を開催する		
					意図	ガラス文化の推進		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	講師謝礼	183千円	講師謝礼	222千円	講師謝礼	144千円				
	旅費	33千円	普通旅費	38千円	普通旅費	30千円				
	合計	216千円	合計	260千円	合計	174千円				
	財源内訳/割合									
国庫支出金										
県支出金										
地方債										
その他	ふるさと支援基金	216千円	ふるさと支援基金	260千円	ふるさと支援基金	174千円				
一般財源										
合計	216千円	合計	260千円	合計	174千円					
人工数	0.43人	1,621千円	0.19人	781千円	0.26人	1,537千円				
総経費	1,837千円	1,041千円	1,711千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	出張体験教室の開催回数	活動	12回	12回	12回	0回
			5回	5回	3回	
			41.60%	41.60%	25.00%	
2	出張体験教室の参加者人数	活動	240人	240人	240人	0人
			142	110人	99人	
			59.10%	45.80%	41.25%	
3						

成果	市内の他、広島と山口でも体験教室を実施し、ガラス文化の推進を図ることができた。				
R8年度に向けた課題及び改善策	予算や対応できる講師の人数に限りがあるため、実施回数の増加が困難である。				
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

240 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	ガラス文化推進事業	3	ガラスアート作品貸出し支援事業	3-(2)			政策的	
事業概要	本市のガラス文化を市内外に発信する取組の一つとして、令和4年8月から市が所蔵している故・竹内傳治のガラスアート作品13点と現代ガラス展受賞作品27点の計40点を、市内に事務所又は活動の拠点がある団体等に無料(運搬費用は有料)で貸し出している。				対象	市内に事務所又は活動の拠点がある団体等		
	市の都合で突発的に事業者から作品を回収する必要がある場合や、市の施設に展示する場合の運搬費用を計上する。				手段	市所蔵のガラスアート作品等を無料で貸し出し		
	貸出可能な展示ケースが9台しかないため、要綱改正を行い、令和6年度からは条件を満たせばガラスアート作品単品でも貸し出しできるようにしている。				意図	本市のガラス文化の発信、ガラスアートのまちとしての認知度向上		

事業期間	R4 年度	～	R11以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			ガラスアート作品搬出入委託料	33千円	ガラスアート作品搬出入委託料	50千円	ガラス作品動産総合保険	548千円
							ガラスアート作品搬出入委託料	50千円
	合計			33千円		50千円		598千円
	財源内訳/割合							
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源				33千円		50千円		598千円
合計				33千円		50千円		598千円
人工数 人件費			0.10人	379千円	0.25人	1,478千円		
総経費				412千円		1,528千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	チラシの配布(両商工会議所の会報に同封)	活動		1,600部 未実施	1,600部 未実施	1,600部
2	貸出依頼があったガラスアート作品数	成果		9点 5点 55.56%	12点 5点 55.56%	15点
3	ガラスアート作品の展示を行った新規事業者数	成果		9者 4者 44.44%	10者 4者 44.44%	10者

成果	市内4企業、5か所にガラス作品を設置し、ガラス文化を発信することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	ガラスアート作品単品での貸し出しができるようにしたが、安全性等を考慮すると、アクリル製展示ケースに入れて展示した方が借主にとっても安心なので、展示台の新規購入について検討が必要である。					
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	令和7年度から経常的経費に移行					

R6年度 事務事業評価シート

241 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
2	ガラス文化推進事業	5	CLASS GLASS推進事業	3-(2)			政策的
事業概要	本市では、公設ガラス工房「きららガラス未来館」の活用や全国規模の現代ガラス展を開催するなど、ガラスアートによるまちづくりに取り組んでいる。当該施設は、指定管理により小野田ガラス㈱が運営しており、ガラス造成作家が、自身のガラス作家活動をしながら体験学習の指導等に從事している。故に、小野田ガラス㈱と協力し、ガラスアート作品をブランド化し、販売を行うことにより、ガラスアートのまちの取組との相乗効果により、市の知名度向上に加え、ふるさと納税の増加等を図る。なお、令和5年度からは、当該事業の主たる部分を小野田ガラス㈱に委託し、ブランドの運営・発展を推進していくこととしている。				対象	市内で制作されるガラス作品	
					手段	ガラス作品をブランド化し、そのブランドの運営	
					意図	市の知名度の向上及びふるさと納税の増加等を図り、「ガラスアートによるまちづくり」を推進していく。	

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	ブランド運営委託料	18,000千円		ブランド運営委託料	3,975千円	ブランド運営委託料	2,375千円		ブランド運営委託料	657千円
	報償金	46千円		システム導入委託料	1,000千円					
	商標登録委託料	439千円								
	デザイン委託料	911千円								
	運送等業務委託料	220千円								
	合計		19,616千円			4,975千円		2,375千円		657千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	9,023千円							
	県支出金									
	地方債									
	その他			商標権使用料・まちづくり基金	4,975千円	商標権使用料・まちづくり魅力基金	2,375千円	商標権使用料・まちづくり魅力基金	657千円	
	一般財源		10,593千円							
合計		19,616千円			4,975千円		2,375千円		657千円	
人工数	人件費	0.51人	2,924千円	0.15人	874千円	0.35人	2,069千円			
総経費		22,540千円			5,849千円		4,444千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	きららガラス未来館の来客数	活動	-	14,000人	14,500人	15,000人
			17,501人	15,507人	14642	
			-	110.76%	100.99%	
2	ブランド化したガラス商品の販売額	成果	-	6,000千円	6,000千円	6,000千円
			123,700円	286,100円	357,079円	
			-	4.77%	5.95%	
3						

成果	山口宇部空港での春のきき酒フェアの実施等により、県内外にPRすることができた。				
R8年度に向けた課題及び改善策	今後の方向性、CLASS GLASSの定義を検討する必要がある。				
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

242 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	文化によるまちづくり推進事業	1	かるたによるまちづくり推進事業	3-(2)		交流	政策的
	市内公共施設や幼・保育園、小・中学校の授業の一環としてかるた教室を開催することで、市内全域への競技かるたの普及に努める。また、教室参加者や競技者を対象としたかるた大会を開催することにより、競技者のさらなる増加を図ることで、「かるたのまち山陽小野田」の魅力を発信し、交流人口の拡大を図るなど、かるたによるまちづくりを展開する。				対象	本市及び競技かるたに興味のある人		
					手段	かるた教室等の開催		
					意図	競技かるたの普及、かるたを通じた交流人口の拡大及びかるたによるまちづくりの展開		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	かるた教室事業委託料	455千円		かるた教室事業委託料	470千円	かるた教室事業委託料	465千円	かるた教室事業委託料	605千円	
	消耗品	63千円		消耗品費	20千円	消耗品費	8千円	消耗品費	10千円	
	保険料	3千円		賞賜金	6千円	賞賜金	9千円	賞賜金	10千円	
				保険料	2千円	保険料	3千円	保険料	10千円	
								使用料	2千円	
合計	521千円			498千円			485千円		637千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	521千円	ふるさと支援基金	498千円	ふるさと支援基金	485千円	ふるさと支援基金	637千円	
	一般財源									
合計	521千円			498千円			485千円		637千円	
人工数	人件費	0.80人	3,321千円	0.35人	1,835千円	0.30人	1,773千円			
総経費	3,842千円			2,333千円			2,258千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	出前かるた教室の開催 (参加者数)	活動	15回	22回	34回	34回
			26回(1,080人)	29回(1,208人)	29回(1,255人)	
			173.33%	131.82%	85.29%	
2	一般向けかるた教室の開催 (参加者数)	活動	3回	6回	3回	3回
			1回(9人)	2回(18人)	2回(15人)	
			33.33%	33.33%	33.33%	
3	かるた大会の開催 (参加者数)	活動	1回	1回	1回	1回
			1回(14人)	1回(20人)	0回	
			100.00%	100.00%	0.00%	

成果	小中学生を対象としたかるた出前教室を市内全小・中学校で開催し、児童・生徒に競技かるたにふれる機会を提供することができた。また、幼児かるた出前教室を9園で実施した。かるた大会については、雪で中止となった。				
R8年度に向けた課題及び改善策	競技かるたに継続して取り組む人材を育成し、若い世代への本市のかるた文化の継承が課題である。				
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

243 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	文化によるまちづくり推進事業	2	芸術文化アドバイザー設置事業				政策的
	芸術文化活動の活性化及び本市の特色を活かした芸術文化によるまちづくりの推進を目的に、専門的な立場からの助言を得るため、芸術文化アドバイザーを設置している。				対象	本市文化振興行政		
	現在は、ガラス、かるた競技、音楽のアドバイザーを設け、各種文化事業の開催に当たり助言を得ることで、事業内容の充実を図っている。(各分野2名/合計6名)				手 段	専門的な立場からの助言を得る		
				意 図	本市の魅力を活かした文化振興によるまちづくりの推進			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	報償費	100千円	報償費	120千円	報償金	80千円	報償金	50千円		
	合計	100千円		120千円		80千円		50千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	100千円	ふるさと支援基金	120千円	ふるさと支援基金	80千円	ふるさと支援基金	50千円	
一般財源										
合計	100千円		120千円		80千円		50千円			
人工数	人件費	0.06人	344千円	0.01人	58千円	0.01人	59千円			
総経費		444千円		178千円		139千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	芸術及び文化によるまちづくりのための専門的な立場からの助言	活動	36回	36回	36回	20回
			10回	12回	8回	
			27.78%	33.33%	22.22%	
2						
3						

成果	専門的な見地から助言を得ることで、本市の魅力を生かした文化事業を実施することができた。				
R8年度に向けた課題及び改善策	引き続きアドバイザーの意見を有効に活用し、事業に反映させていきたい。他事業の委員を兼ねている場合もあるため、どちらの立場での助言を求めるとの線引きが必要。				
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

244 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化会館 事務事業番号 230020303

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	文化によるまちづくり推進事業	3	不二輸送機ホール開館30周年記念事業			交流	政策的
	令和6年度に、開館30周年の節目を迎える不二輸送機ホールにおいて、記念事業として著名人による公演を開催する。 市主催事業開催時のアンケート結果で希望の多かった「落語」に着目し、テレビやラジオ番組で著名な立川志らく氏と立川談笑氏による二人会を開催する。				対象	市民ほか		
					手段	記念事業として、アンケートで希望の多い著名人による公演を開催する		
				意図	多くの市民に不二輸送機ホールを認知してもらい、芸術文化に触れることで豊かな人間性を育み、本市に愛着と誇りを感じてもらう			

事業期間	R6 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					公演業務委託料	2,090千円		
					舞台業務委託料	66千円		
					広報物作成業務委託料	52千円		
					手数料	43千円		
					印刷製本費	30千円		
					実行委員業務委託料	17千円		
					その他	6千円		
	合計						2,304千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				入場料3,000円×370人	1,082千円		
	一般財源					1,222千円		
	合計						2,304千円	
人工数 人件費			0.21人	1,223千円	0.33人	1,650千円		
総経費				1,223千円		3,954千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	記念事業の開催	活動			実施	
					実施	
					100.00%	
2	利用者(観客)数	成果			550人	
					352人	
					64.00%	
3						

成果	不二輸送機ホール開館30周年事業として、アンケートで希望の多かった落語に着目し、テレビで著名な立川志らく・談笑二人会を開催し、来場者から好評を得た。					
R8年度に向けた課題及び改善策	不二輸送機ホール開館30周年事業として開催し、事業完了。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

245 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化会館 事務事業番号 230020305

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	文化によるまちづくり推進事業	5	(主催)宝くじ文化公演事業				政策的
	一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじ文化公演事業を活用し、市の主催事業として、上質な音楽、演劇及び文化に関する講演会等を実施し、市民に芸術文化に触れる機会を提供するとともに芸術文化によるまちづくりの推進を図る。				対象	市民		
	令和6年度は「アニソンファンタジックコンサート」の採択を受け、不二輸送機ホール開館30周年記念事業の冠を付して開催する。				手段	一般財団法人自治総合センターに宝くじ文化公演事業を申請し、採択後に公演事業を実施する		
				意図	公演を実施し、市民に芸術文化に触れる機会を提供するとともに芸術文化によるまちづくりの推進を図る			

事業期間	R6 年度	～	R11以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳					事務費等負担金	842千円		
					舞台業務委託料	66千円		
					手数料	14千円		
					食糧費	18千円		
					実行委員業務委託料	15千円		
					通信運搬費	5千円		
	合計						960千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				入場料2,500円*679人	1,698千円		
	一般財源					-738千円		
合計						960千円		
人工数					0.33人	1,650千円		
総経費						2,610千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	公演事業の申請	活動			申込	
					申込	
					100.00%	
2	公演事業の実施	活動			開催	
					開催	
					100.00%	
3						

成果	宝くじ文化公演「アニソンファンタジックコンサート」の採択を受け、不二輸送機ホール開館30周年記念事業の冠を付して開催した。公演と併せてキッチンカー等のマルシェ同時開催も企画し、多くの来場者に楽しんでもらうことができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	文化会館運営委員会及び実行委員会の意見や、来場者アンケート結果を参考に、市民に関心の深い公演内容を吟味したうえで、採択を得やすい申請方法等を研究しながら宝くじ文化公演申請を行う。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

246

課・局・室・所(係)

社会教育課

文化財係

事務事業番号

230030102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	文化財保護活用事業	2	「ふるさと文化遺産」登録・活用					政策的
	評価が厳選される指定文化財以外にも、地域の財産として親しまれ大切にされている文化的財産は多く、そのような財産を「ふるさと文化遺産」として登録し、一定の価値づけを行い、市民のアイデンティティ確立とあわせ、ふるさと学習での活用を図る。 地域交流センターや小中学校で講演会や出前講座を開催し、多くの市民へふるさと文化遺産の周知を図る。 今後もふるさと文化遺産の登録に向け、調査研究を行う。					対象	文化的財産		
						手段	調査研究、情報収集により資料作成後登録。登録後活用を場を地域、学校等幅広く設定		
						意図	文化的財産の価値づけ、保護・活用、市民の郷土愛の醸成		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	印刷製本費	99千円					印刷製本費	55千円		
	合計	99千円					55千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	販売収入	46千円	販売収入	28千円	販売収入	26千円			
	一般財源		53千円		-28千円		29千円			
合計		99千円		千円		55千円				
人工数	人件費	0.15人	860千円	0.15人	874千円	0.35人	2,069千円			
総経費		959千円		874千円		2,124千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	ふるさと文化遺産への登録 (カテゴリー単位で行う)	成果	0件	0件	1件	0件
			0件	0件	0件	
			0%	0.00%	0.00%	
2	ふるさと文化遺産をテーマにした地域、学校、団体との連携事業の実施回数	活動	10回	10回	10回	10回
			11回	7回	3回	
			110.00%	70.00%	30.00%	
3	ふるさと文化遺産ファイル販売数	活動	200冊	100冊	100冊	100冊
			60冊	42冊	42冊	
			30.00%	42.00%	42.00%	

成果	ふるさと文化遺産について、年度内での登録に間に合わなかったが、令和7年5月に登録をすることができた。ふるさと文化遺産の講座を地域交流センターで行い、ふるさと文化遺産を知っていただく機会を設けたが、近年新規のふるさと文化遺産登録がなかったため、講座回数は減少した。また、悪天候で中止となった現地探訪もあったため、開催時期も考えながら地域交流センターと連携し講座や現地探訪等を行う。					
R8年度に向けた課題及び改善策	新たに登録したふるさと文化遺産「コーストウォーク～海岸線から見る情景～」をテーマとした講座を地域交流センター等で実施し、ふるさと文化遺産のファイルの販売数につなげ財源確保に努める。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	拡大	①	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

247

課・局・室・所(係)

社会教育課

文化財係

事務事業番号

230030204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
2	文化財保存整備事業	4	且の登り窯保存事業				政策的
事業概要	市指定文化財である且の登り窯は、本体の老朽化が著しく、また覆屋や木製の柱の一部が破損または腐食している状態である。指定文化財に損害を与えるだけでなく、近隣の住民にも被害が及ぶ恐れがあるため、計画的に修理をする。登り窯については、有識者の意見も聞きながら、今後の保存について検討する。				対象	文化財	
					手段	窯・覆屋の修繕	
					意図	劣化を防止し、適正な保存管理に努める	

事業期間	R2以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般				
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)					
支出内訳	修繕料			491千円	修繕料			485千円	修繕料				496千円	
	合計			491千円				485千円					496千円	
財源内訳/割合	国庫支出金													
	県支出金													
	地方債													
	その他													
	一般財源				491千円			485千円					496千円	
合計				491千円			485千円					496千円		
人工数 人件費		0.05人		287千円		0.05人		291千円		0.05人		296千円		
総経費				778千円				776千円				792千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	覆屋の修理	活動	一部修理	一部修理	一部修理	一部修理
			完了	完了	完了	
			100%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	覆屋をブロックに分け順次修繕を行っている。また、毎年覆屋を確認し緊急を要する箇所から修繕を行い、近隣住民や見学者への安全に配慮しつつ、史跡を雨風から守り窯本体の適切な保存管理ができています。					
R8年度に向けた課題及び改善策	未修復の覆屋について令和8年度以降に引き続き修繕を行い、文化財への被害や近隣住民及び見学者の安全に努める。また、窯本体についての劣化も見られるため、今後どのように保存を進めて行くべきか検討が必要になる。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

248 課・局・室・所(係) 社会教育課 文化財係 事務事業番号 230030206

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	文化財保存整備事業	6	山下記念館 解体工事				政策的
	令和5年度に建物を解体し、令和6年度は解体後の事後家屋調査を実施した。調査の結果、隣接地の家屋に損傷箇所が見つかり、所有者に補償費の支払を行った。				対象	山下記念館		
					手段	建物の解体		
				意図	建物の老朽化に伴い維持管理が困難			

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	設計委託料	2,992千円	測量調査委託料	1,320千円	家屋調査業務委託料	2,211千円		
			家屋調査業務委託料	4,488千円	補償費	112千円		
			登記業務委託料	80千円				
			工事請負費	6,438千円				
	合計	2,992千円		12,326千円		2,323千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債	山下記念館除却事業債 2,992千円	山下記念館除却事業債	5,600千円				
	その他							
	一般財源			6,726千円		2,323千円		
合計	2,992千円		12,326千円		2,323千円			
人工数 人件費	0.10人	573千円	0.20人	1,748千円	0.20人	1,182千円		
総経費		3,565千円		14,074千円		3,505千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	建物の解体	成果	実施設計	解体	事後家屋調査	
			着手	完了	完了	
			10%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	事後家屋調査を行った結果、解体の影響と考えられる家屋の亀裂等があったものの、その補償費の支払い等も含め無事完了することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

249 課・局・室・所(係) 社会教育課 歴史民俗資料館 事務事業番号 230030302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	文化財保存展示事業(歴史民俗資料館)	2	歴史民俗資料館管理運営事業(企画展)				政策的
	地域の歴史や文化財について興味・関心を持ってもらい、郷土愛の醸成につながるような企画展や講演会等を開催する。歴史学、民俗学、考古学の分野から様々なテーマで企画し、山陽小野田市の歴史に理解を深めることを目的とする。				対象	歴史民俗資料館利用者		
					手段	企画展・講演会等の博物館業務		
					意図	地域の歴史や文化財への理解を深めることで市民の郷土愛を醸成する。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	講師謝礼	15千円	消耗品費	664千円	消耗品費	716千円	消耗品費	754千円		
	普通旅費・通行料	22千円	印刷製本費	513千円	印刷製本費	437千円	印刷製本費	390千円		
	消耗品費	775千円	通信運搬費	66千円	通信運搬費	117千円	通信運搬費	127千円		
	印刷製本費	366千円	普通旅費	2千円	普通旅費	10千円	講師謝礼	30千円		
	通信運搬費	98千円			通行料	4千円	通行料	23千円		
	図書購入費	20千円					普通旅費	13千円		
	合計	1,296千円		1,245千円		1,284千円		1,337千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金繰入金 1,292千円	ふるさと支援基金繰入金 1,240千円	ふるさと支援基金・その他繰入金 1,284千円	ふるさと支援基金・その他繰入金 1,333千円					
	一般財源	4千円	その他 5千円	千円	その他 4千円					
合計	1,296千円	1,245千円	1,284千円	1,337千円						
人工数	1.00人	2,800千円	0.90人	3,104千円	1.10人	4,274千円				
総経費	4,096千円	4,349千円	5,558千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	企画展・講演会等の開催回数	活動	6	5	10	10
			10	8	10	
			166.67%	160.00%	100.00%	
2	企画展・講演会等の来場者数	活動	3500	3000	3500	3500
			2819	2662	2940	
			80.54%	88.73%	84.00%	
3						

成果	「絵葉書の魅力再発見 歴史と古写真からわかる絵葉書の世界」では、絵葉書の変遷と昭和初期の本市の様子が好評だった。「第2回大田家文書展 江戸時代長府藩の一村物語」では、貴重な古文書を通じて、村の形成や変遷を紹介した。これらは前回よりもブラッシュアップした内容で、リピーターが多かった。また、「宴-作家のおもてなしの記録-」では、初めての試みとして歴史学と民俗学の資料を同時に公開することで、相乗効果が生まれ、多様な客層に足を運んでもらうことができた。アンケートでも満足度が高かった。					
R8年度に向けた課題及び改善策	企画展の来場者数が目標に達しなかった。これまでアンケートで要望のある企画展内容については、過去に取り上げて開催しているが、来場者を増やすためには、リピーター客以外にも客層を広げる必要がある。そのためには、様々な角度での資料調査を継続し、地域の歴史について理解を深められるような企画展を開催する。また、SNS等で積極的に情報発信し、身近な魅力ある館として知ってもらえるよう努める。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

250 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231010205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	1	スポーツに取り組む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	体育施設維持整備事業	5	市民体育館整備事業	3-(2)			政策的	
事業概要	市民体育館の利用環境向上のため、アリーナの空調設備新設やトイレの洋式化等を行う。 令和6年度については実施設計を行う。 また、これにより避難所としての環境整備・機能向上を併せて図る。				対象	体育施設利用者、観客、高潮被害を除く中・長期の避難市民		
					手段	アリーナの空調設備新設(キュービクルの更新を含む。)、トイレの洋式化を含む改修、特定天井対策などの大規模改修の実施		
					意図	市民体育館の利用環境向上を図るとともに、高潮被害を除く避難所としての環境整備・機能向上を図る		

事業期間	R6 年度	～	R11以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					設計委託料	24,145千円	工事請負費	330,400千円
							廃棄物処分委託料	1,000千円
							消耗品費	100千円
	合計					24,145千円		331,500千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				緊急防災・減災事業債	24,100千円	緊急防災・減災事業債	330,400千円
	その他							
	一般財源					45千円		1,100千円
合計						24,145千円		331,500千円
人工数 人件費					0.70人	4,138千円		
総経費						28,283千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	体育施設利用者数 (市民体育館)	成果	75,000人	78,000人	78,000人	58,800人
			50,675人	54,357人	55,010人	
			67.57%	69.69%	70.53%	
2						
3						

成果	令和6年度においては、実施設計業務を行った。その中で特定天井対策の手法及び空調の熱源を比較検討した。検討の結果、特定天井対策は落下防止ネット、空調の熱源は都市ガスを採用した。				
R8年度に向けた課題及び改善策	令和7年度から令和8年度にかけて改修工事を実施するとともに、令和9年度からの供用開始に向けて、新たに必要となる物品の購入及び受益者負担の程度の適当性を考慮した使用料の改正準備を行う必要がある。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

251 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	スポーツによるまちづくり推進事業	1	レノファ山口とのパートナーシップ事業	3-(2)		交流	政策的
	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、本市を練習拠点としているプロスポーツチーム「レノファ山口FC」を活用し、選手による市内小・中学校や保育園、幼稚園等を巡回し、スポーツ交流事業を実施する。選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることにより、市民の一体感の醸成を促し、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進する。また、令和3年6月に市とレノファ山口との間で締結した包括連携協定に基づき、社会課題や地域課題の解決に向けて双方で連携した事業を実施するとともに、レノファ山口ホームゲームでは市PRを併せて実施する。				対象	市民		
					手段	市民(保育園、学校等)を対象にしたスポーツ交流事業等の実施 レノファ山口の練習拠点としての情報発信		
					意図	スポーツによるまちづくりの推進		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	スポーツ教室事業委託料	600千円		スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円	600千円
	消耗品費	188千円		消耗品費	180千円	消耗品費	78千円	消耗品費	210千円	210千円
				機械器具借上料	20千円	機械器具借上料	27千円	機械器具借上料	24千円	24千円
	合計	788千円		800千円		705千円		834千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	788千円	ふるさと支援基金	800千円	ふるさと支援基金	705千円			
	一般財源									834千円
合計	788千円		800千円		705千円		834千円			
人工数	0.30人	1,558千円	0.15人	874千円	0.30人	1,773千円				
総経費	2,346千円		1,674千円		2,478千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	交流行事の実施回数	活動	15回	15回	25回	25回
			11回	12回	17回	
			73.34%	80.00%	68.00%	
2	交流事業に参加した人数	活動	2,000人	2,000人	2,500人	2,500人
			977人	4,812人	896人	
			48.85%	9000.00%	35.84%	
3	市SNSでの情報発信(試合結果等)	活動		42回	60回	60回
				22回	63回	
				52.38%	105.00%	

成果	幼稚園及び保育園での交流事業に加え、中学校での交流事業の実施、健康増進課との連携事業等を展開することで、レノファ山口を知ってもらう機会を多く持つことができた。一方で、市の大きなイベントとの連携ができなかったために、交流事業参加人数としては令和5年度を大きく下回った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	交流事業を引き続き行うことで、より多くの市民の方とレノファの選手・スタッフが関わる機会を提供する。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	拡大	①	
特記事項	選手、スタッフとの交流の機会を増やすために予算も増額する必要がある。					

R6年度 事務事業評価シート

252 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	スポーツによるまちづくり推進事業	2	パラサイクリング支援の輪拡大事業	3-(2)		運動 交流	政策的
	パラサイクリングの主要競技の一つであり象徴的な機材であるタンデム自転車の体験会を実施し、パラサイクリングの魅力や本市とナショナルチームとの関わりの紹介を通じて、パラサイクリングを支援する人の輪を拡大する。また、小学校等での出前講座の実施により、パラサイクリングに対する市民への周知を図る。				対象	市民に限らず、パラサイクリングや自転車に興味のある人		
					手段	タンデム自転車体験会の実施、出前講座によるパラサイクリングナショナルチームの紹介		
					意図	パラサイクリング及びナショナルチームのファン拡大、本市のPR、障がい者スポーツへの理解促進		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳		報償金		報償金	86千円	賞賜金	68千円	報償金	86千円	
		消耗品費		消耗品費	52千円	消耗品費	18千円	消耗品費	52千円	
		修繕料		修繕料	17千円			保険料	45千円	
		保険料		保険料	45千円			修繕料	17千円	
		合計			200千円			86千円		200千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	200千円	ふるさと支援基金	86千円			
	一般財源									200千円
	合計			200千円			86千円		200千円	
人工数 人件費	0.16人	917千円		0.14人	816千円		0.13人	768千円		
総経費		917千円			1,016千円			854千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	タンデム自転車体験会・出前講座	活動	6回	6回	6回	6回
			1回	1	1回	
			16.67%	16.67%	16.67%	
2						
3						

成果	小学校での出前講座を実施し、パラサイクリングへの理解を深めることにつながっている。また令和6年夏に行われたパリパラリンピックでのパラサイクリング日本代表チームを応援する機運の醸成につながった。					
R8年度に向けた課題及び改善策	パリパラリンピック後におけるパラサイクリング日本代表チームの応援を継続するため小学校等での出前事業を通じてパラサイクリングへの理解を深める。イベント等でのタンデム自転車の乗車体験を行うことで、広く市民への周知を図る必要がある。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

253 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	スポーツによるまちづくり推進事業	3	パラサイクリングのまちPR事業	3-(2)		運動 交流	政策的	
事業概要	令和6年8月下旬に開幕するパリ・パラリンピックに向けて、パラサイクリング日本ナショナルチームの応援を通じた市民の一体感の醸成や障がい者スポーツへの理解促進等を強力に進めるため、市内での合宿に対する支援、市民との交流事業を実施する。				対象	市民に限らず、パラサイクリングや自転車に興味のある人		
					手段	合宿の誘致、交流事業の開催		
					意図	パラサイクリング及びナショナルチームのファンの拡大、スポーツ振興、地域の活性化、共生社会の意識情勢		

事業期間	R3以前	年度 ~	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	合宿誘致事業補助金	396千円	合宿誘致事業補助金	1,000千円	スポーツ教室事業委託料	500千円	スポーツ教室事業委託料	1,000千円	
	委託料	500千円	スポーツ教室事業委託料	500千円	消耗品費	76千円	消耗品費	100千円	
	消耗品費	100千円	消耗品費	100千円					
	印刷製本費	50千円	【補正】報償費	400千円					
	保険料	50千円	【補正】旅費	200千円					
			【補正】需用費	200千円					
			【補正】使用料	200千円					
合計	1,096千円		2,600千円		576千円		1,100千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	ふるさと支援基金	896千円	ふるさと支援基金	2,250千円	ふるさと支援基金	576千円	ふるさと支援基金	1,100千円
	一般財源		200千円		350千円				
合計	1,096千円		2,600千円		576千円		1,100千円		
人工数 人件費	0.06人	344千円	0.07人	408千円	0.15人	887千円			
総経費	1,440千円		3,008千円		1,463千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	合宿の支援	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	0	0回	
			100.00%	0.00%	0.00%	
2	交流事業の開催	活動	1回	2回	2回	2回
			3回	3回	3回	
			300.00%	150.00%	150.00%	
3	交流事業参加者数	成果		50人	100人	100人
				367人	321人	
				734.00%	321.00%	

成果	杉浦選手による講演会の開催、選手と園児・児童との交流事業の実施により「パラサイクリングのまち」としての情報発信を行うことができた。 12/17 講演会、8/2 ねたろう保育園(27名)、10/15・12/17 高千帆小学校(117名)、10/15 出合小学校(56名)、12/16 小野田中学校(121人)					
R8年度に向けた課題及び改善策	パリパラリンピック後における本市でのパラサイクリング日本代表チームの合宿の誘致、選手との交流事業の実施について、継続して実施できる環境を調整する必要がある。特に合宿については、日本パラサイクリング連盟との協議し、どのような取組ができるか検討する必要がある。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

254 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020110

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
事業概要	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	スポーツによるまちづくり推進事業	10	中学生の文化・スポーツ活動体制整備推進事業			運動	政策的
令和4年度にスポーツ庁及び文化庁から提言のあった「休日の部活動における地域展開(移行)」について、本市でも中学生年代の文化・スポーツ環境の適切な整備を図るため、国や県の動向を踏まえながら、市教育委員会やスポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、文化協会等と連携し、本市の実情にあったスキームの構築を図る。					対象	市内の中学生、保護者、学校関係者、文化・スポーツ団体		
					手段	協議会の開催、地域団体による活動場所の提供、指導者派遣		
					意図	文化・スポーツ活動を希望する中学生が取り残されることのないよう従前の部活動と異なる体制整備が行われていること		

事業期間	R6 年度	～	R11以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳			報償金	60千円	報償金	104千円	報償金	5,150千円
							役務費	903千円
							普通旅費	400千円
							委託料	100千円
	合計				60千円		104千円	6,553千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金						交付金	5,000千円
	地方債							
	その他						参加費	500千円
	一般財源				60千円		104千円	1,053千円
合計				60千円		104千円	6,553千円	
人工数 人件費			0.20人	1,165千円	0.75人	4,433千円		
総経費				1,225千円		4,537千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	休日の中学校部活動における地域移行数	成果			2クラブ 0クラブ 0.00%	20クラブ
2	中学生の文化・スポーツ活動体制整備協議会の開催	活動			5回 4回 80.00%	4回
3	指導者研修会の開催	活動			2回 0回 0.00%	2回

成果	協議会を開催し、素案の検討等を行った。国や県のガイドラインに沿って、令和6年11月に「山陽小野田市中学生の文化スポーツ活動体制整備基本方針」を策定し、本市における文化芸術・スポーツ活動の環境整備に向けた方向性を示した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	運営に係る財源の確保すること及び地域クラブ活動団体、指導者を増やすことなど体制を整備し、令和8年度から休日の学校部活動を廃止し、地域クラブ活動へ展開(移行)する。					
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

255 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020112

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	スポーツによるまちづくり推進事業	12	「地域スポーツの活性化とまちづくり」シンポジウム開催事業	3-(2)			政策的
	中学生の運動部活動の地域移行を背景とした、市内にある様々なスポーツ団体の連携を図りたいことから、地域スポーツを取り巻く環境や将来像について意見を交わすとともに、山陽小野田市モデル構築のヒントを見出すため、(一財)自治総合センターが公募している「令和6年度シンポジウム助成事業」に応募し、採択されたことから「地域スポーツの活性化とまちづくり」に関するシンポジウムを市民館(文化ホール/定員445人)で開催する。				対象	市内スポーツ関係者(指導者、競技者、スポーツ推進員)、市民		
					手段	シンポジウム(基調講演、パネルディスカッション)の開催、ストレッチ・体幹講座(仮称)の開催		
					意図	市内のスポーツ関係者(総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会)の連携を促し、スポーツ環境の整備につなげる		

事業期間	R6 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					講師謝礼	1,395千円		
					広告料	520千円		
					消耗品費	203千円		
					印刷製本費	163千円		
					普通旅費	99千円		
					報償金	50千円		
					食糧費	8千円		
合計						2,438千円		
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				宝くじ助成金	2,000千円		
	一般財源					438千円		
合計						2,438千円		
人工数 人件費					0.10人	591千円		
総経費						3,029千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	シンポジウムの観覧者数	活動			445人	
					230人	
					51.68%	
2	ストレッチ・体幹講座(仮称)への参加者数(2回合計)	活動			100人	
					28人	
					28.00%	
3	総合型地域スポーツクラブの設立数	成果	3クラブ	3クラブ	3クラブ	4クラブ
			2クラブ	2クラブ	2クラブ	
			66.66%	66.66%	66.66%	

成果	元プロバレーボール選手である川合俊一氏、宝来麻紀子氏による基調講演、市内スポーツ団体関係者等によるパネルディスカッション及び市内トレーナーによるカラダのつかい方教室を行い、それぞれ以下の入場者に参加いただくことができた。 【入場数実績】基調講演 約180人、パネルディスカッション 約 50人、カラダのつかい方教室 28人					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R6		-
特記事項						